3 *野洲市交通バリアフリー特定事業計画様式*

以下の様式を用いて、野洲市交通バリアフリー特定事業計画の取りまとめを行いました。

①道路特定事業計画様式

②交通安全特定事業計画様式

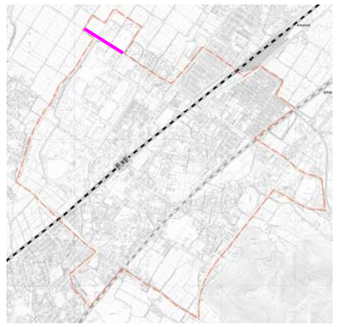
③その他の事業計画様式

①道路特定事業計画様式

■特定経路

［路線名 ：県道 木部野洲線（県-１ ：特定経路）　（延長： 300 m)］　【事業者 ：滋賀県】

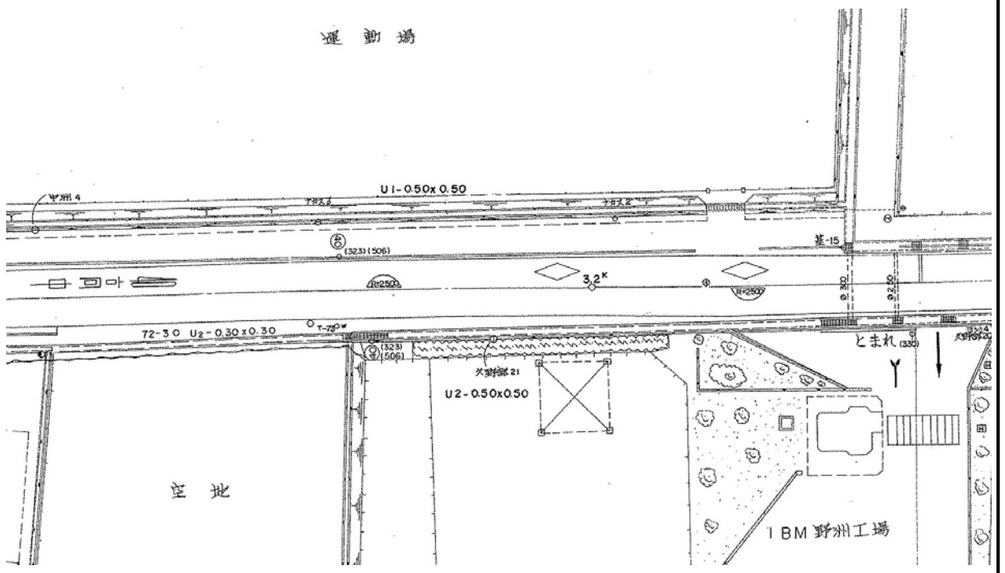
［位置図］



［整備方針］

滋賀県歩道整備マニュアル（平成 16 年５月）に則って、安全・快適に利用できる歩行空間を創出する.

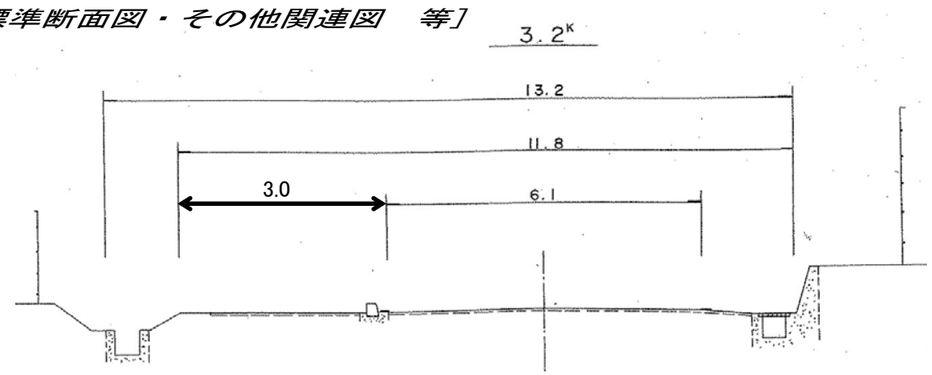
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①段差・高低差の解消	L=300m		→	→	→	→	→		●			
②路面・舗装の改良	L=300m		→	→	→	→	→		●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L=300m		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］



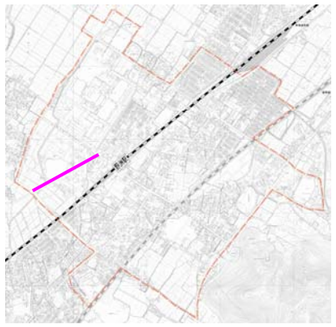
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・市-30（特定経路：市道市三宅小南線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・ グレーチングの隙間や側溝蓋の穴に車いすの車輪がはまってしまう（車いす使用者）
・ 北野小学校前交差点が狭い（車いす使用者）

［路線名 ： 主要地方道 大津能登川長浜線（県-6 ： 特定経路）　（延長：490m）］　【事業者 ： 滋賀県】

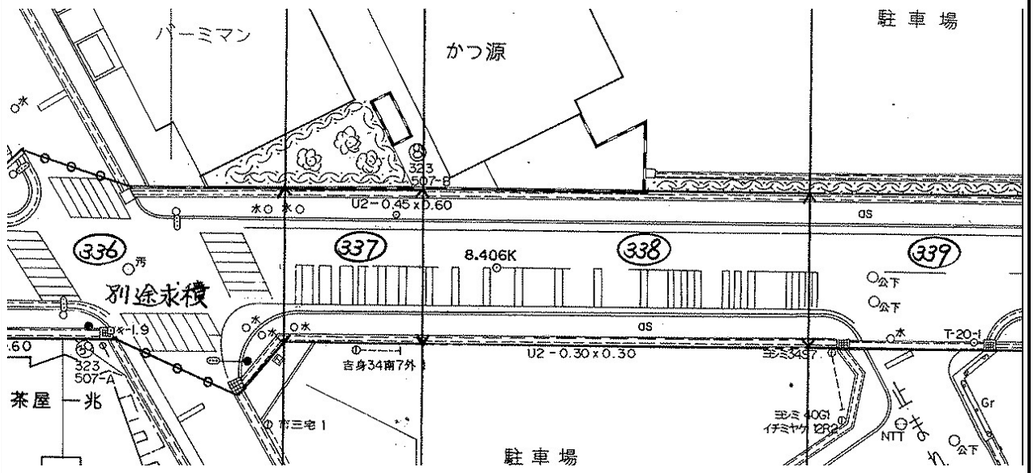
［位置図］



［整備方針］

滋賀県歩道整備マニュアル（平成 16 年 5 月）に則って、安全・快適に利用できる歩行空間を創出する.

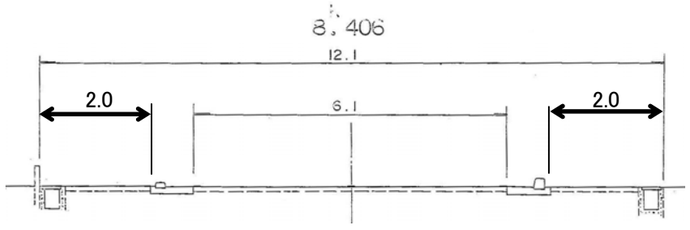
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①路面・舗装の改良	L=490m×2		→	→	→	→	→		●			
②障害物の解消	L=490m×2		→	→	→	→	→		●			
③視覚障害者誘導用ブロックの整備	L-490m×2		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

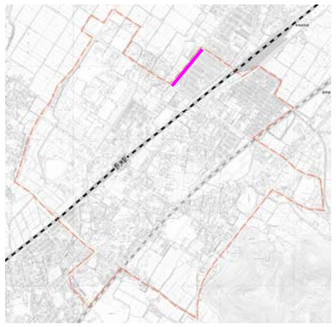
・県-5（その他の経路：主要地方道大津能登川長浜線）・市-27（特定経路：市道市三宅北桜線）・市-5（準特定経路：市道三上市三宅線）・市-16（準特定経路：市道北口線）・市-26（市道市三宅北桜線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 舗装がはがれている箇所を早く補修してほしい（車いす使用者）
・ 側溝蓋がガタガタしている（車いす使用者）
・ 横断勾配がきついので、手が痛くなる（車いす使用者）
・ 後ろから来る自転車と接触しそうになるので、歩行者と自転車を区分してほしい（聴覚障害者）

［路線名 ： 主要地方道 大津能登川長浜線（県-8 ： 特定経路）　（延長：310m)］　【事業者 ： 滋賀県】

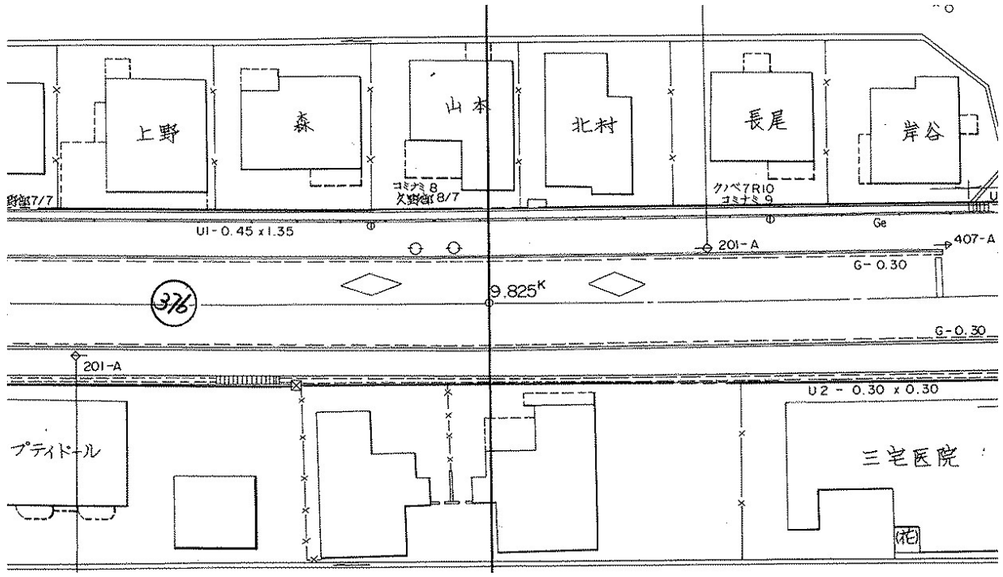
［位置図］



［整備方針］

滋賀県歩道整備マニュアル（平成 16 年 5 月）に則って、安全・快適に利用できる歩行空間を創出する.

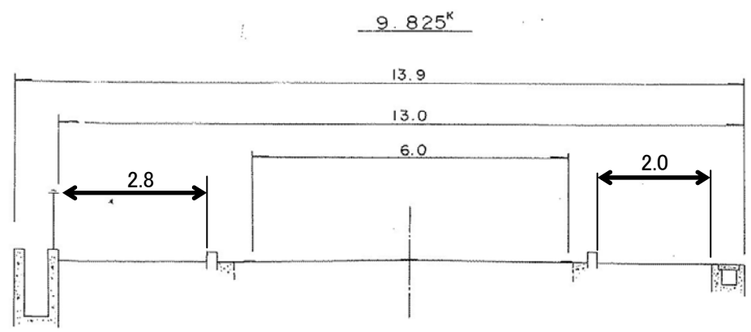
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①障害物の解消	L=310m×2		→	→	→	→	→		●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L=310m×2		→	→	→	→	→		●			JR 線路側整備済

［標準断面図・その他関連図　等］



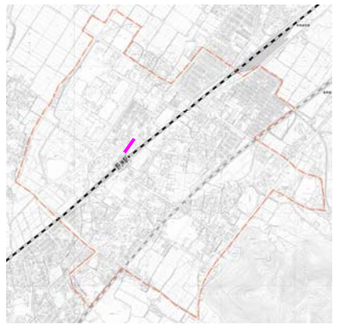
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・県-2・3（その他の経路：県道木部野洲線）・県-5（その他の経路：主要地方道大津能登川長浜線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 野洲駅北口支線（市-2 ： 特定経路） （延長：約 170 m)］ 【事業者 ： 野洲市】

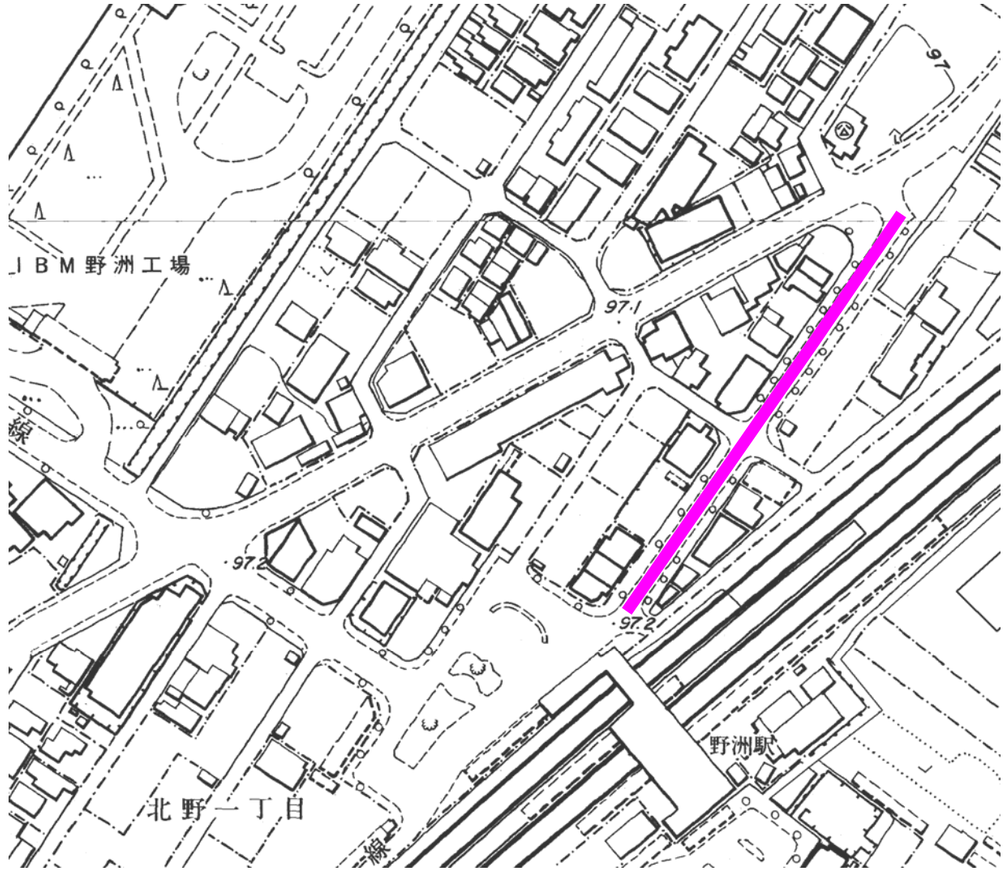
［位置図］



［整備方針］

歩道のセミフラット化により、安全快適な歩行空間を創出する。

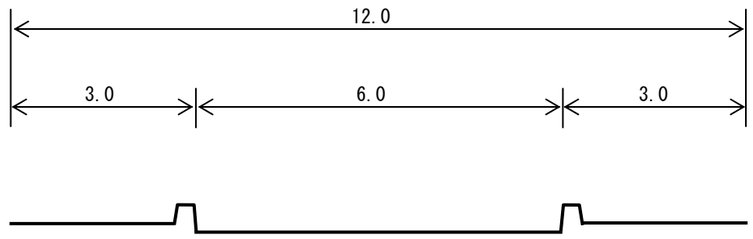
［概略平面図・事業実施個所図 等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備 考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①段差・勾配の改良	L＝170m×2		→	→	→	→	→		●			
②路面・舗装の改良	L＝170m×2		→	→	→	→	→		●			
③障害物の解消	L＝170m×2		→	→	→	→	→		●			
④視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝170m×2		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図 等］

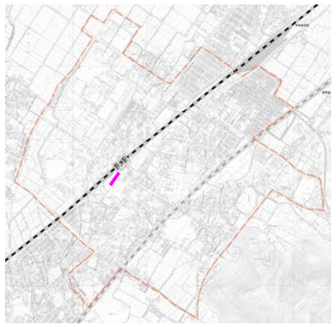


［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・野洲駅北口駅前広場・県-5（その他の経路：主要地方道大津能登川長浜線）整備との整合
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・ 歩道の目地に段差が多い（車いす使用者）
・ 植栽の枝が低く垂れ下がっているので顔に当たる（視覚障害者）
・ 歩車道の段差が大きいので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 市道 下水門支線（市-3 ： 特定経路）　（延長：約 70 m)］　【事業者 ： 野洲市】

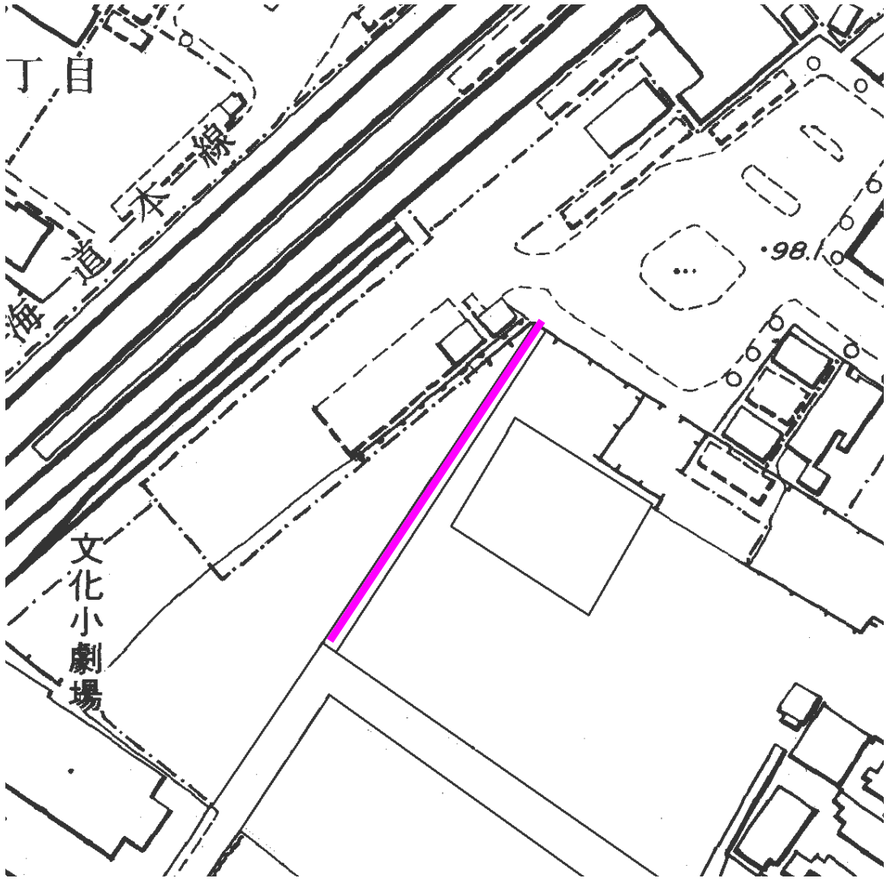
［位置図］



［整備方針］

住民意見を反映させ、誰もがつかいやすい歩行者専用道路を整備する。

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①障害物の解消	L＝70m		→	→	→	→	→		●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝70m		→	→	→	→	→		●			
③照明施設・設備の整備	L＝70m		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］

未定

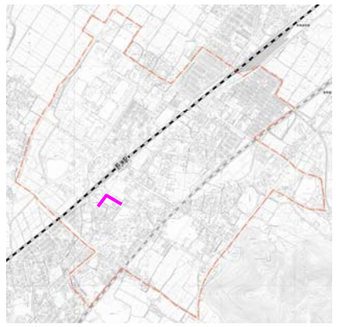
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・野洲駅南口駅前広場・市-6（特定経路：市道野洲駅下水門線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・ 照明が少なく、暗いので優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 市道 野洲駅南線（市-4 ： 特定経路）　（延長：約 220 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



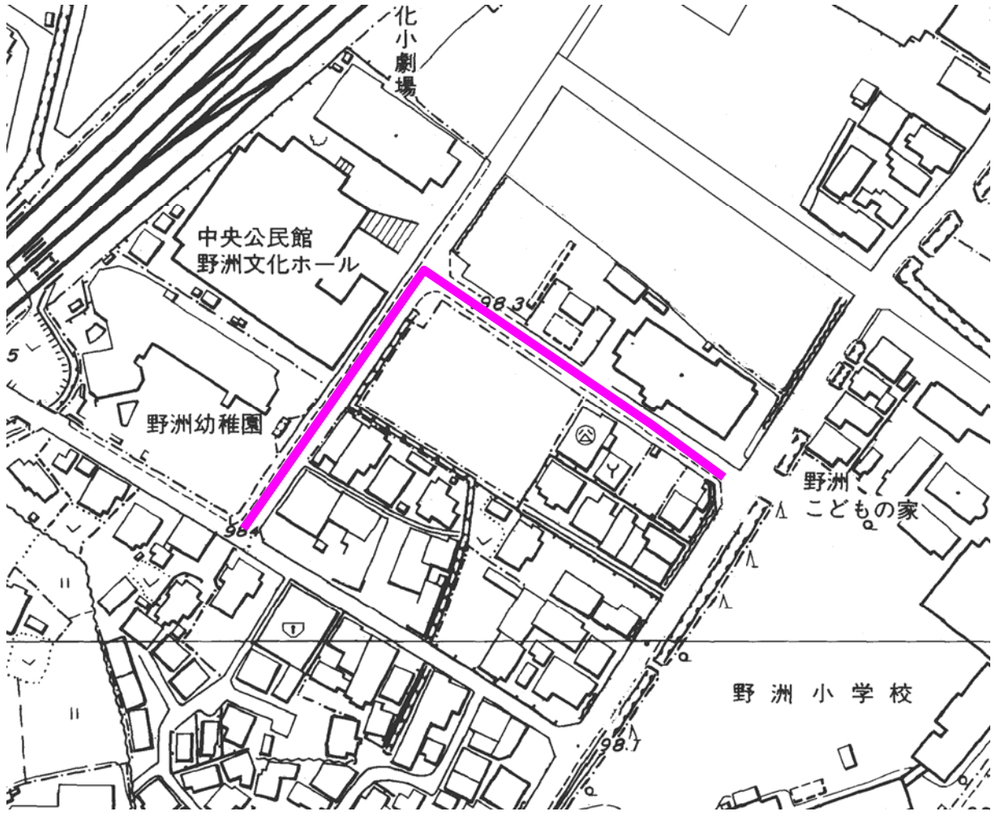
［整備方針］

安全快適な歩行空間を創出する。

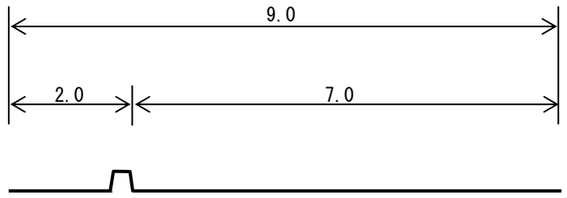
［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①障害物の解消	L＝220m		→	→	→	→	→		●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝220m		→	→	→	→	→		●			
③照明施設・設備の整備	L＝220m		→	→	→	→	→		●			

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・市-6（特定経路：市道野洲駅下水門線）・市-7（特定経路：市道小篠原稲辻線）・市-5（準特定経路：市道三上市三宅線）・市-20（その他の経路：市道三上市三宅線）整備との整合

・公共施設（野洲市中央公民館・文化ホール）管理者と協議しながら事業を進める必要がある。

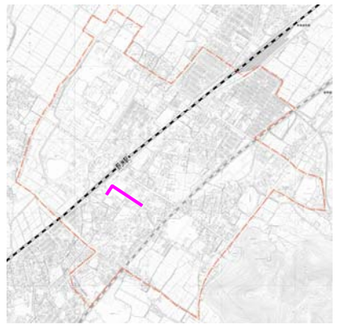
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・歩道から文化ホールへの点字ブロックの誘導がないのでわかりにくい（視覚障害者）

・照明が少なく、暗いので優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 市道 野洲駅下水門線 （市-6 ： 特定経路） （延長：約 320 m)］ 【事業者 ： 野洲市】

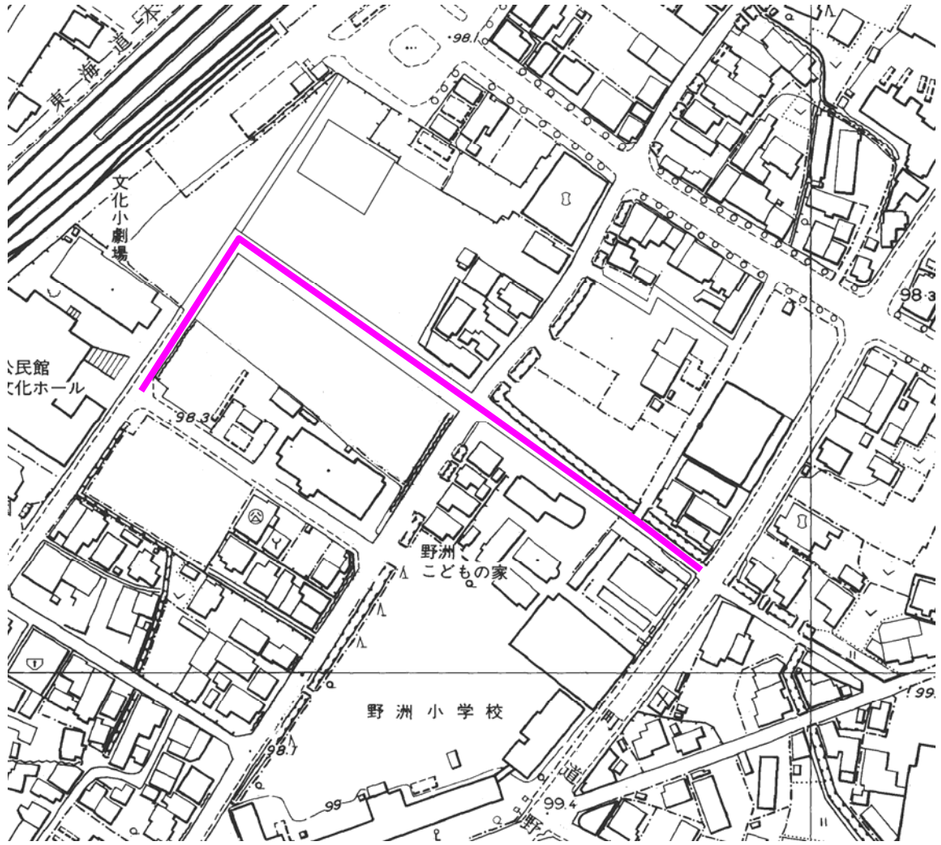
［位置図］



［整備方針］

マウントアップ歩道部分については、セミフラット化を図り、安全快適な歩行空間を創出する。

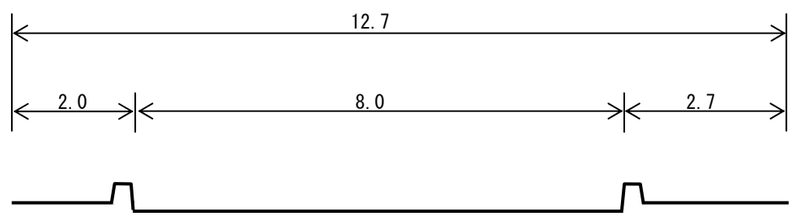
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考（実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①段差・勾配の改良	L＝110m×2		→	→	→	→	→		●			
②路面・舗装の改良	L＝320m×2		→	→	→	→	→		●			
③障害物の解消	L＝320m×2		→	→	→	→	→		●			
④視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝320m×2		→	→	→	→	→		●			
⑤照明施設・設備の整備	L＝320m×2		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

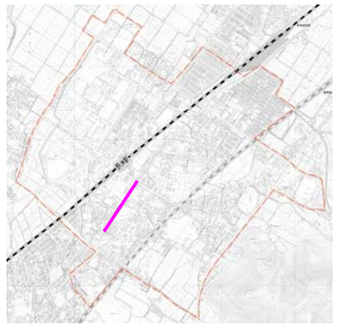
・市-3（特定経路：市道下水門支線）・市-4（特定経路：市道野洲駅南線）・市-7（特定経路：市道小篠原稲辻線）・市-12・13（特定経路：市道野洲中央線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・タイル舗装のため表面が凸凹で通りにくい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・波うち歩道なので通りにくい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・タイル舗装は雨天時に滑りやすい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 市道 小篠原稲辻線（市－7 ： 特定経路）　（延長 ： 約 400 m)］　【事業者 ： 野洲市】

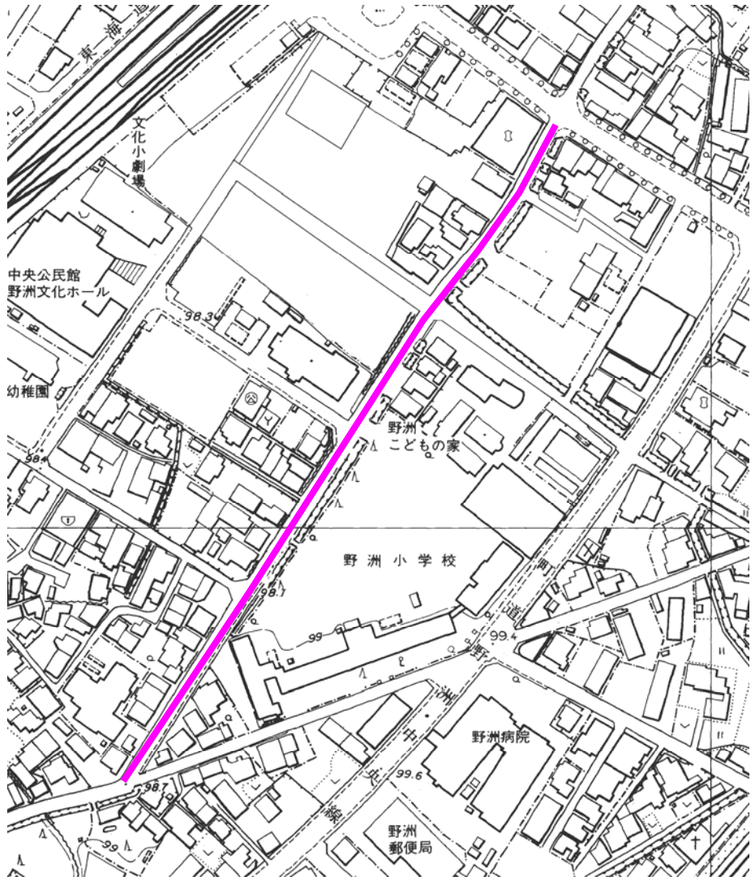
［位置図］



［整備方針］

水路閉渠化のほか、歩道のセミフラット化により、安全快適な歩行空間を創出する。

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度） 17	18	19	20	21	22	～	事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者 道路管理者	公安委員会	その他事業者	備　考（実施状況等）
①歩道の一部拡幅	L＝400m	→	→	→	→	→	→		●			
②段差・勾配・高低差の改良	L＝400m	→	→	→	→	→	→		●			
③路面・舗装の改良	L＝400m	→	→	→	→	→	→		●			
④障害物の解消	L＝400m		→	→	→	→	→		●			
⑤視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝400m		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］

祇王井川上の歩道については、地元協議により、決定していく。

［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・県-7（準特定経路：県道野洲停車場線）・市-4（特定経路：市道野洲駅南線）・市-6（特定経路：市道野洲駅下水門線）・市-8（準特定経路）・市-33（準特定経路）・市-20（その他の経路：市道三上市三宅線）・市-21（その他の経路）整備との整合

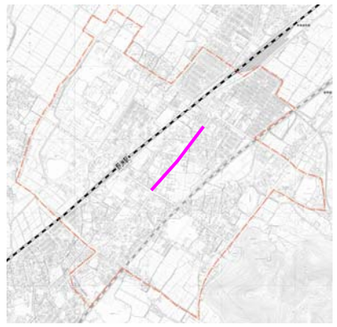
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・歩道としての意味をなしていないので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

・水路への転落防止対策が取られていないので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 市道 野洲中央線（市-11 ： 特定経路）　（延長：約 450 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



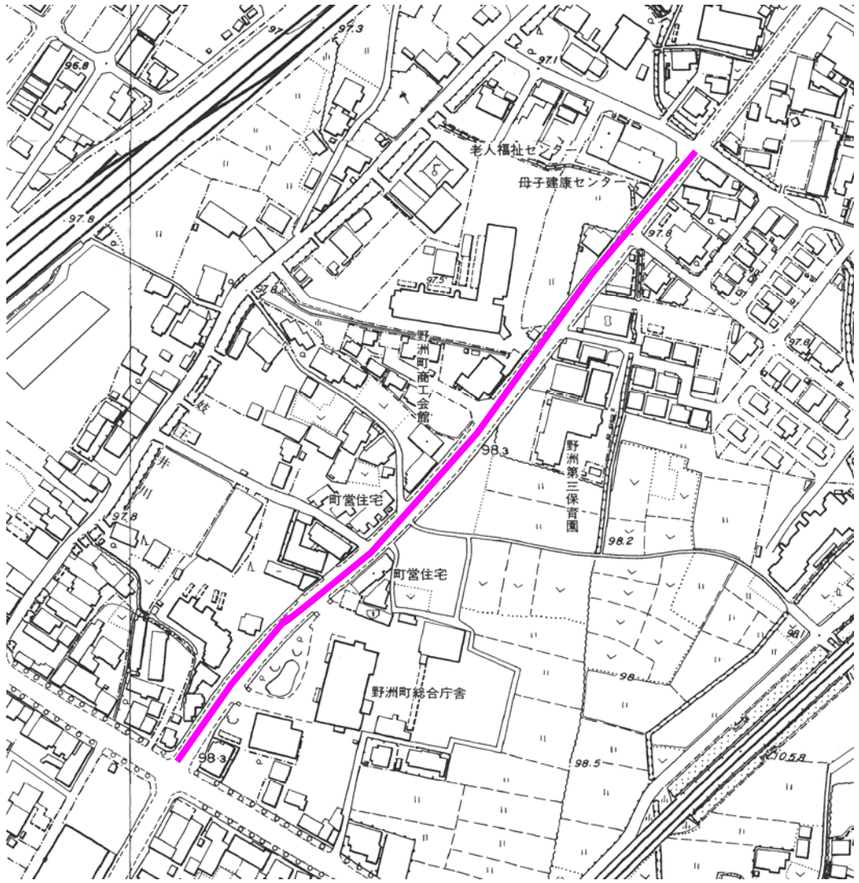
［整備方針］

誰もがつかいやすい歩道を整備する。

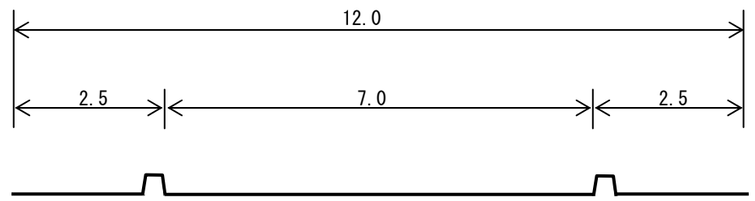
［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考 （実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①路面・舗装の改良	L＝450m×2		→	→	→	→	→		●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝450m×2		→	→	→	→	→		●			

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［標準断面図・その他関連図　等］



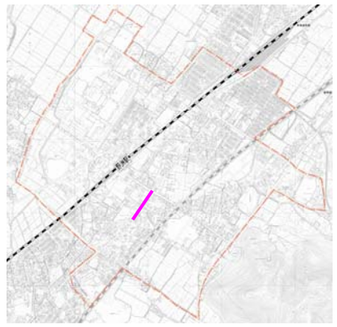
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・県-7（準特定経路：県道野洲停車場線）・市-12（特定経路：市道野洲中央線）・市-9（準特定経路：市道西今六ノ坪線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 野洲中央線（市-12 ： 特定経路）　（延長：約 250 m)］　【事業者 ： 野洲市】

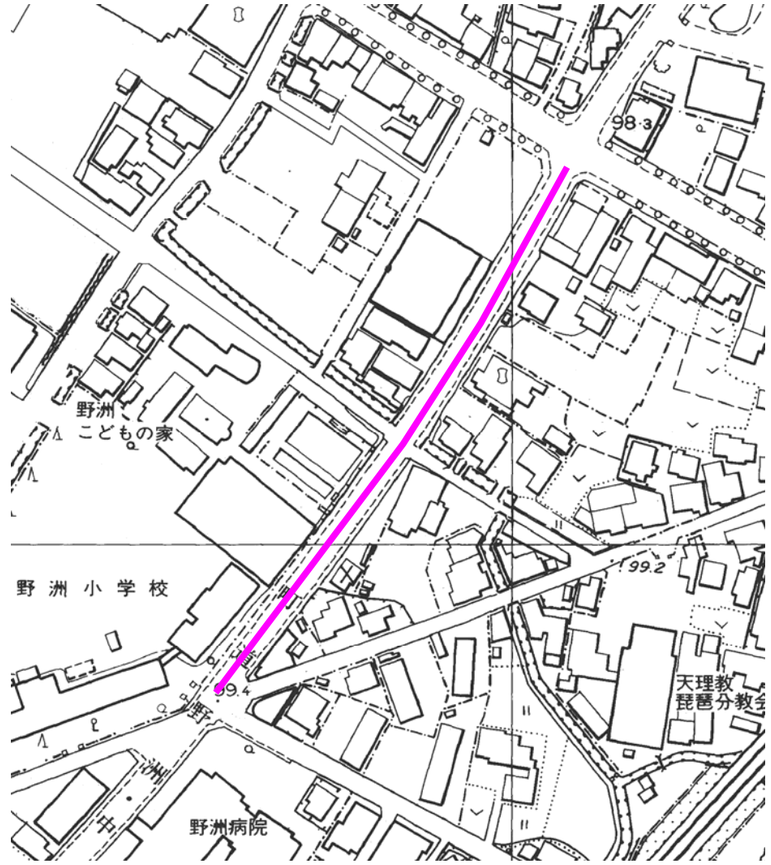
［位置図］



［整備方針］

（整備済）

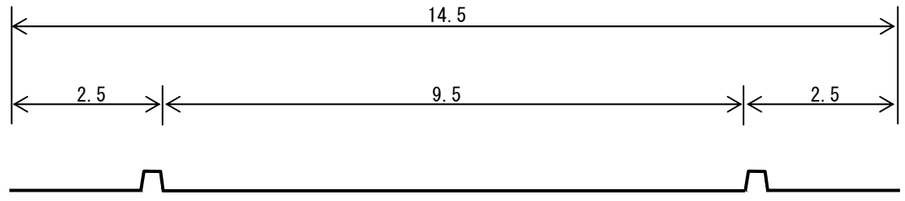
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
												整備済

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

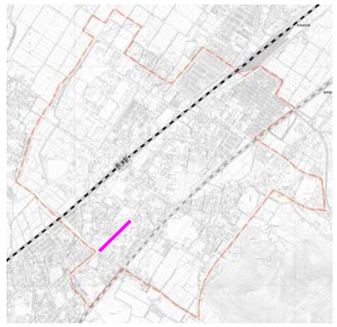
・県-7（準特定経路：県道野洲停車場線）・市-11・13（特定経路：市道野洲中央線）・市-14（その他の経路：市道野洲小篠原線）・市-21（その他の経路）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 野洲中央線（市-13 ： 特定経路）　（延長：約 290 m)］　【事業者 ： 野洲市】

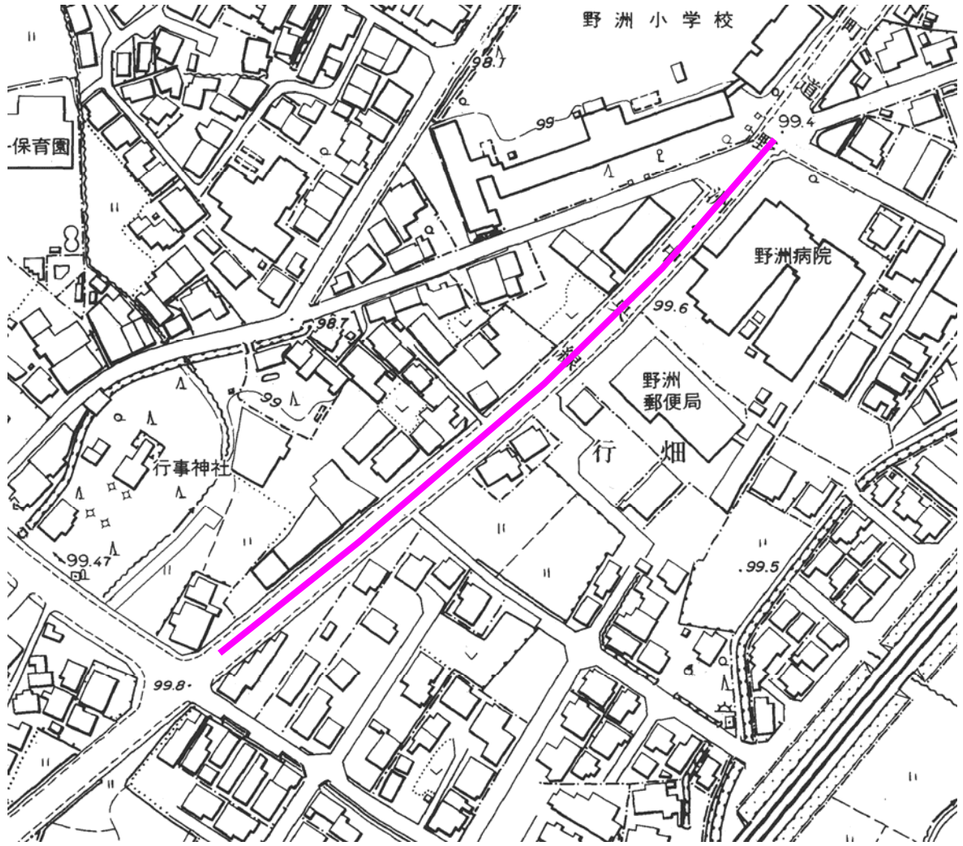
［位置図］



［整備方針］

誰もがつかいやすい歩道を整備する。

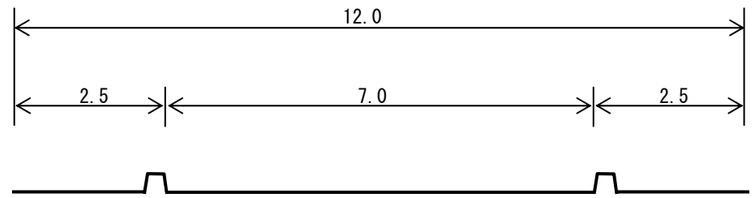
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①路面・舗装の改良	L＝290m×2		→	→	→	→	→		●			
②障害物の解消	L＝290m×2		→	→	→	→	→		●			
③視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝290m×2		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

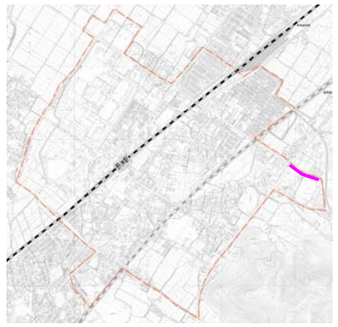
・市-12（特定経路：市道野洲中央線）・市-24（特定経路：都市計画道路市三宅北桜線）・市-25（準特定経路：市三宅北桜線）・市-31（準特定経路：市道三上市三宅線）・市-14（その他の経路：市道野洲小篠原線）・市-21（その他の経路）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・野洲小学校の駐車場の小石が歩道に散乱している（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・以前の交差点部で縁石が途切れていて危険（聴覚障害者）
・野洲病院、野洲郵便局付近は駐車場待ちの車などで混雑していて、見通しが悪く危険（聴覚障害者）

［路線名 ： 市道 小篠原三ツ坂線（市 18 ： 特定経路）　（円長：約 220 m)］　【事業者 ： 野洲市】

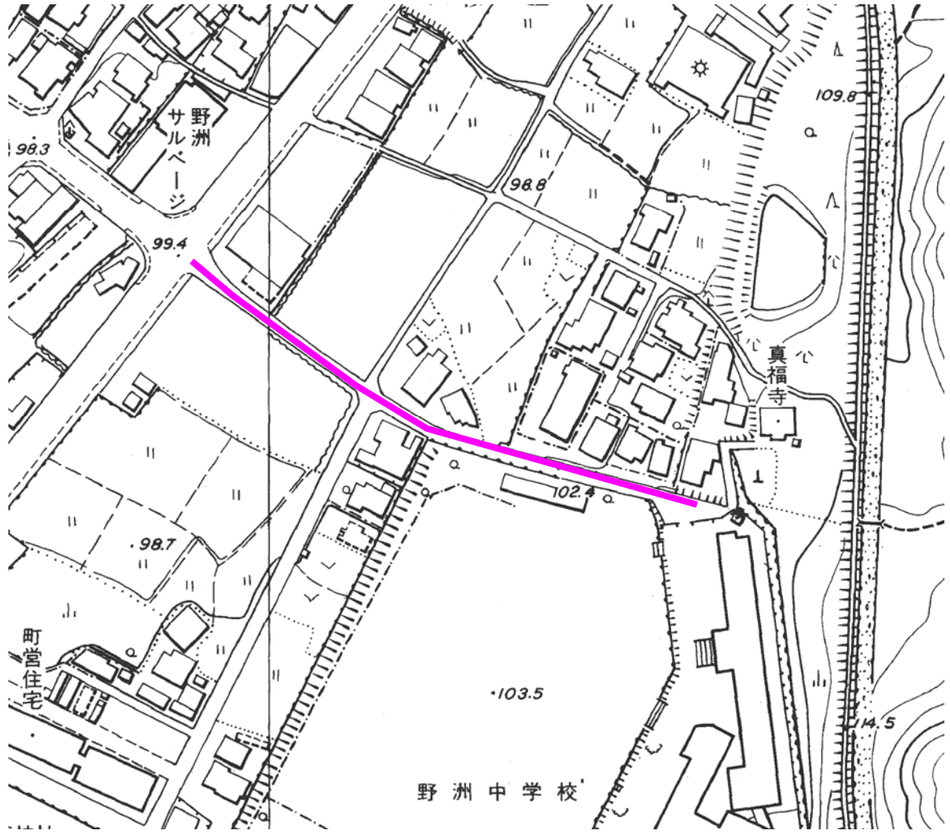
［位置図］



［整備方針］

誰もが使いやすい連続的な歩道を整備する。

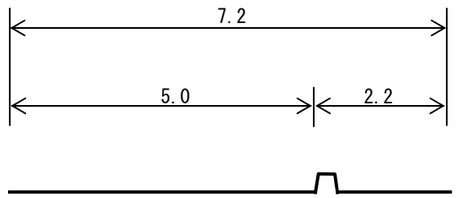
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考（実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①障害物の解消	L＝220m		→	→	→	→	→		●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝220m		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］



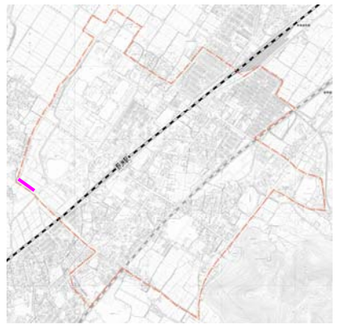
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・国-1（準特定経路：国道 8 号）・県-4（その他の経路：県道木部野洲線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 市三宅妙光寺線（市-27 ： 特定経路）　（延長：約 130 m)］　【事業者 ： 野洲市】

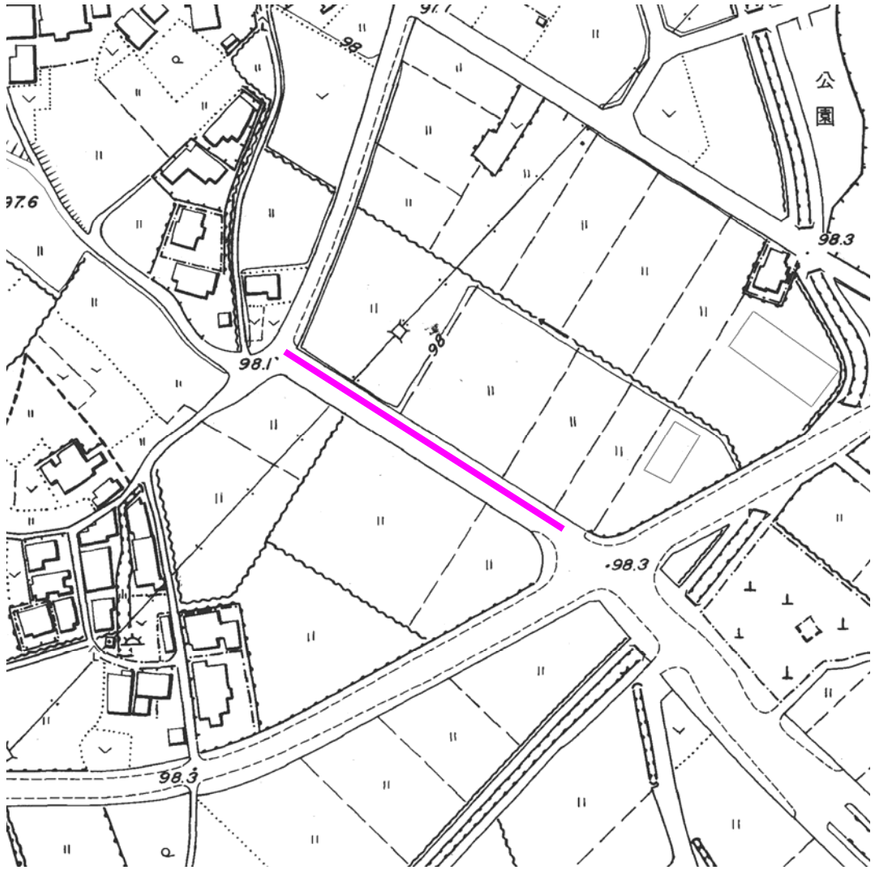
［位置図］



［整備方針］

セミフラット型歩道の整備により、安全快適な歩行空間を創出する。

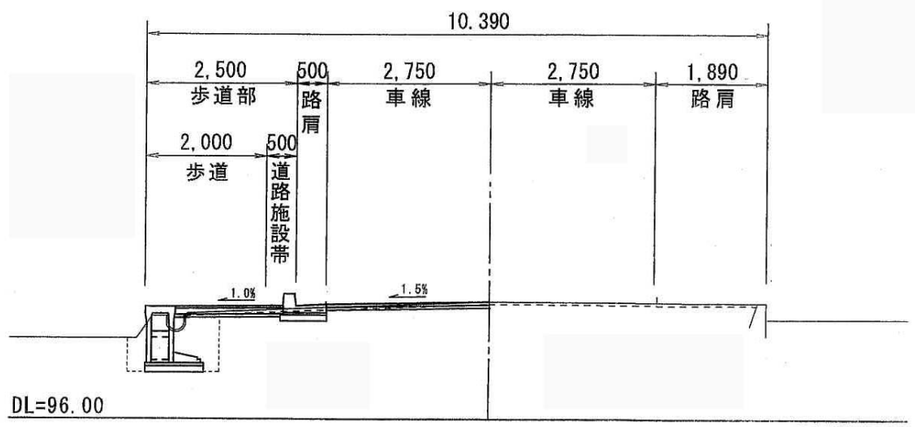
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①歩道の設置	L＝130m	→							●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝130m	→							●			

［標準断面図・その他関連図　等］



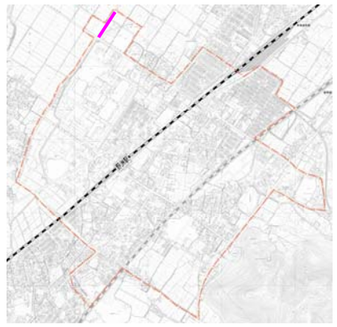
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・県-6（特定経路：主要地方道大津能登川長浜線）・市-26（準特定経路：市道市三宅北桜線）・市-28（準特定経路：市道市三宅小南線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 市三宅小南線（市-30 ： 特定経路）　（延長：約 160 m)］　【事業者 ： 野洲市】

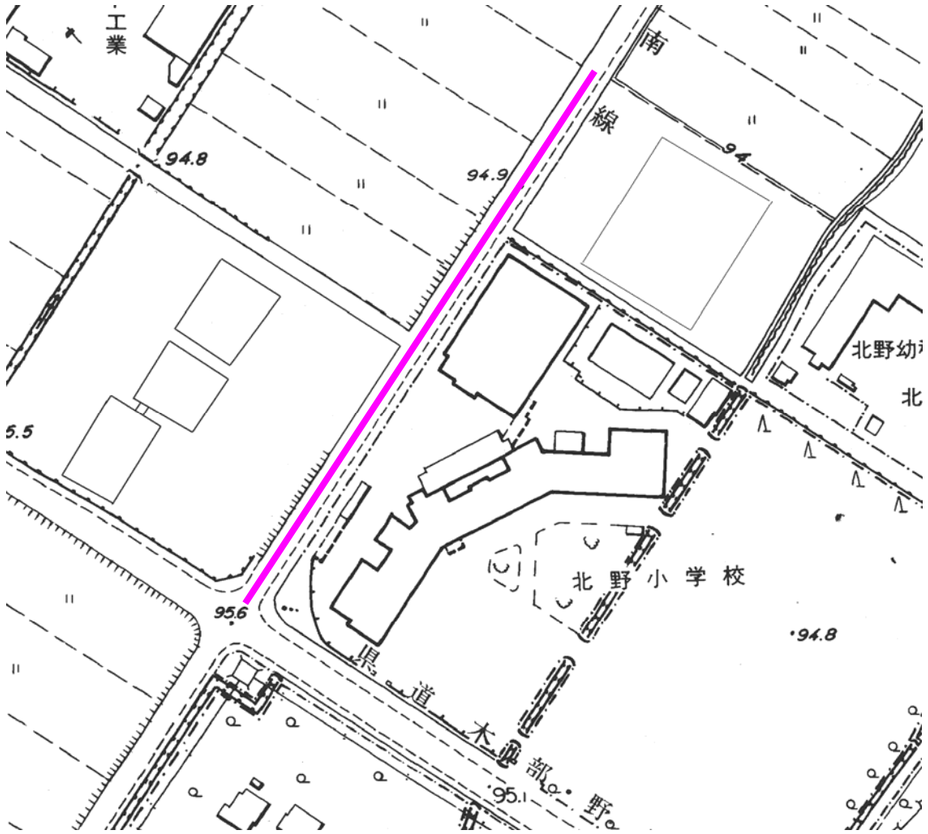
［位置図］



［整備方針］

視覚障害者誘導用ブロックを敷設し、誰もが使いやすい歩道を整備する。

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝160m		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］

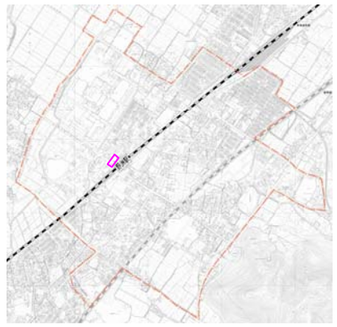
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・県-1（特定経路：県道木部野洲線）・市-17（準特定経路：市道市三宅小南線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［野洲駅北口駅前広場（特定経路）］　　【事業者：野洲市】

［位置図］



［整備方針］

住民意見を反映させ、移動円滑化基準及びガイドラインに沿った改良を行う。

［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者			備　考（実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①勾配の緩和	6 箇所		→	→	→	→	→		●			
②段差の解消	1 箇所		→	→	→	→	→		●			
③有効幅員2m 以上の単純でわかりやすい歩行者動線の整備	50m		→	→	→	→	→		●			
④視覚障害者誘導用ブロックの改良	1 式		→	→	→	→	→		●			
⑤側溝蓋などの改良	3 箇所		→	→	→	→	→		●			
⑥絵文字(ピクトグラム)による案内サインの導入	1 式		→	→	→	→	→		●			
⑦公衆トイレの改善（視覚障害者誘導用ブロックの敷設・身体障害者用トイレドアの改善など）	1 箇所		→	→	→	→	→		●			

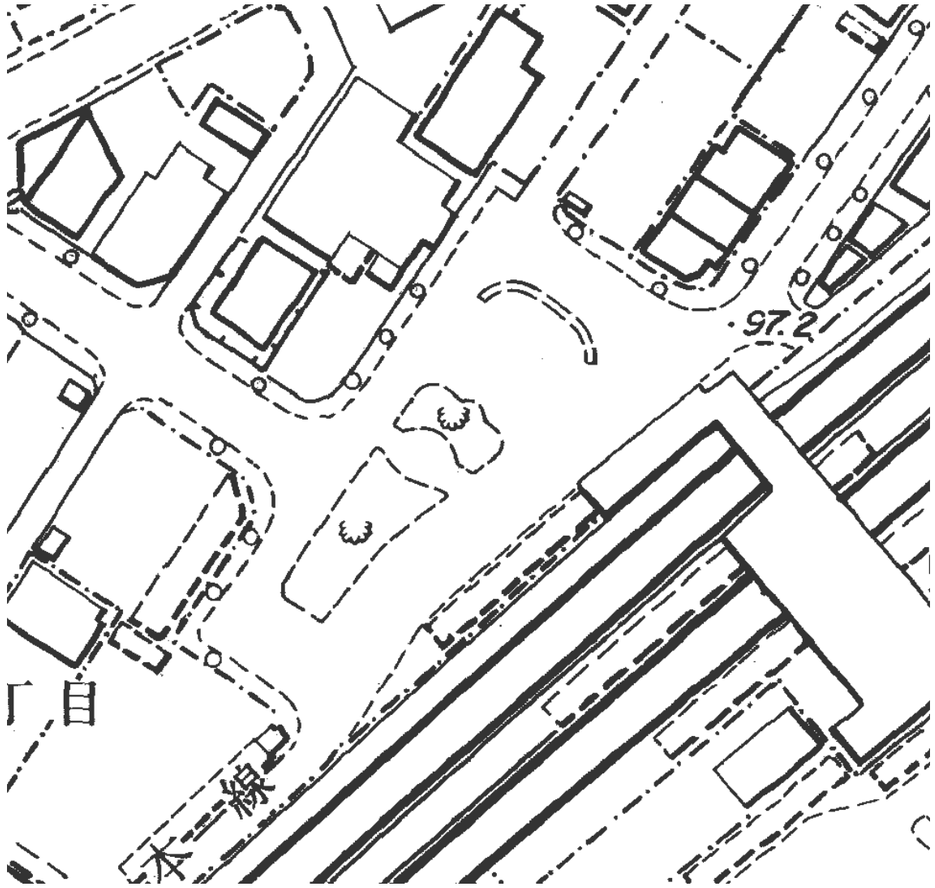
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・市－2（特定経路：市道野洲駅北口線）・市-16（準特定経路：市道北口線）整備との整合
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

駅前広場
・グレーチングの隙間に車いすの車輪がはまってしまう（車いす使用者）　・パチンコ店の前の木の枝が顔に当たる（視覚障害者）
・街灯がロータリーの中央にあるのでぶつかってしまう（視覚障害者）　・エスカレーター横の点字ブロックを真っ直ぐにしてほしい（視覚障害者）
・点字ブロックを辿ると、ポストの前の柱にぶつかってしまう。（視覚障害者）　・循環バスのルートも観光案内板上に必要（聴覚障害者）
・柱が多いので、柱の周りにガードが必要（聴覚障害者）　・タクシーと一般車両の駐停車場が混雑し、見通しが悪く横断が危険（聴覚障害者）
・ベンチを避けるために車いす使用者が勾配のきつい所を通らなければならない（聴覚障害者）

公衆トイレ
・一般トイレの場所がわかりにくい、荷物を置く場所がない、狭い（地域住民）
・身体障害者用トイレの場所がわかりにくい　・身体障害者用トイレの手動ドアが開けられない（車いす使用者）
・点字ブロックで誘導されていないので使えない（視覚障害者）

［概略平面図・事業実施個所図　等］



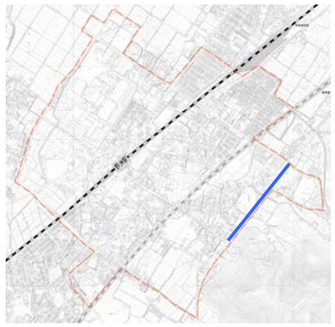
［標準断面図・その他関連図　等］

未定

■準特定経路

［路線名 ： 国道 8 号　　（国-1 ： 準特定経路）　　（延長：約 670 m)］　　【事業者 ： 国】

［位置図］



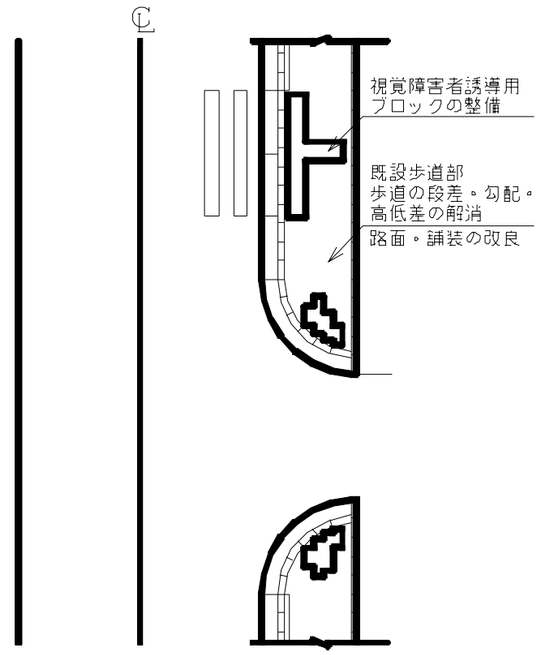
［整備方針］

マウントアップ歩道をセミフラット型歩道に改良することにより、安全快適な歩行空間を整備する。

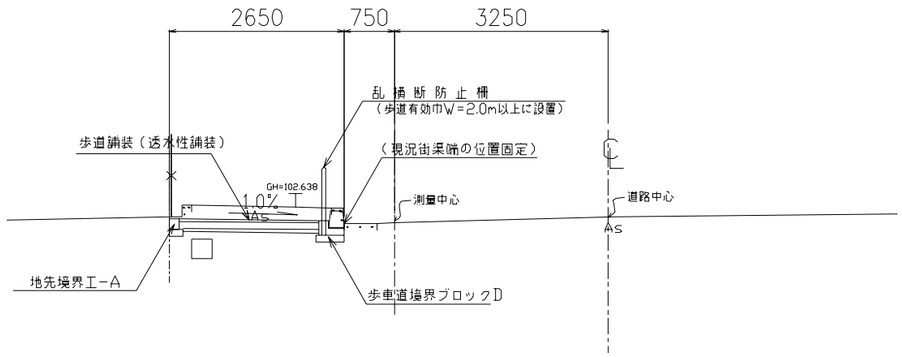
［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①歩道の設置	L=670m		→	→	→	→	→	→	●			
②段差・勾配・高低差の改良	L=670m	→							●			
③路面・舗装の改良	L=670m	→							●			
④視覚障害者誘導用ブロックの整備	5 箇所×2	→	→	→	→	→	→	→	●			平成 17 年度に、東側歩道の交差点部及び横断歩道部を整備

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

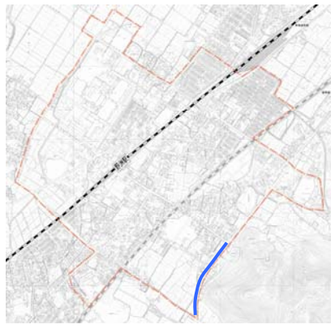
・市-24（特定経路：都市計画道路市三宅北桜線）・県-7（準特定経路：県道野洲停車場線）・市-19（その他の経路：市道小篠原住宅道線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 国道 8 号　　（国-2 ： 準特定経路）　　（延長：約 580 m)］　　【事業者 ： 国】

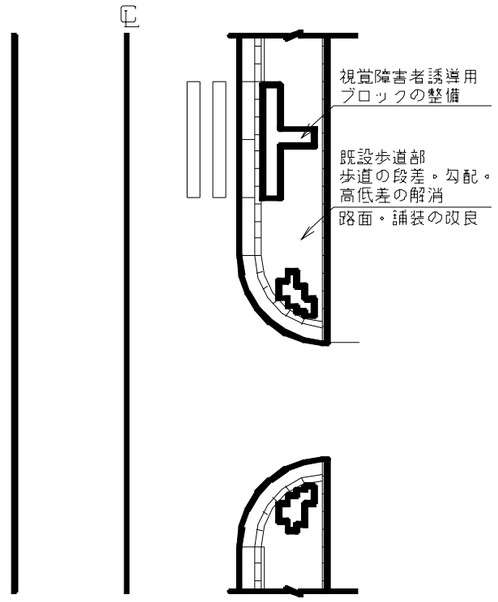
［位置図］



［整備方針］

マウントアップ歩道をセミフラット型歩道に改良することにより、安全快適な歩行空間を整備する。

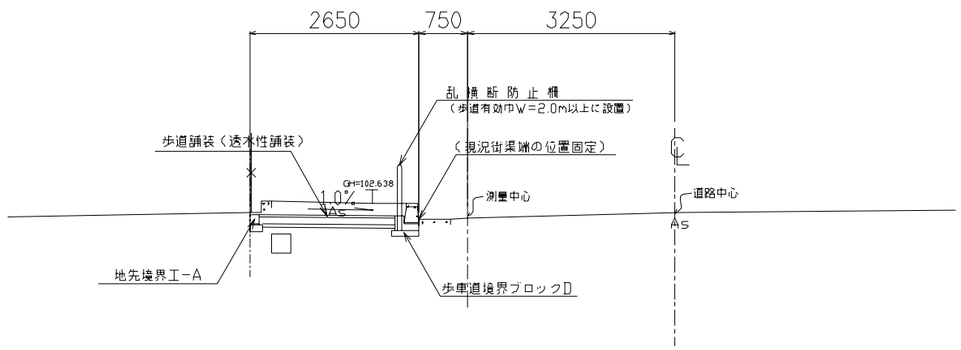
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①歩道の設置	L=580m		→	→	→	→	→	→	●			
②段差・勾配・高低差の改良	L=580m	→							●			
③路面・舗装の改良	L=580m	→							●			
④視覚障害者誘導用ブロックの整備	8 箇所×2	→	→	→	→	→	→	→	●			平成 17 年度に、東側歩道の交差点部及び横断歩道部を整備

［標準断面図・その他関連図　等］



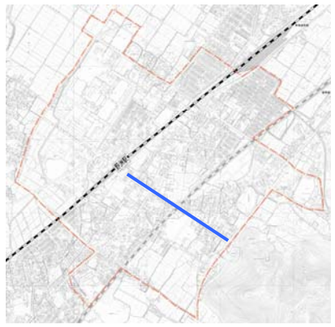
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・市-24（特定経路：都市計画道路市三宅北桜線）・県-7（準特定経路：県道野洲停車場線）・市-19（その他の経路：市道小篠原住宅道線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 県道 野洲停車場線（県-7 ： 準特定経路）　（延長：820 m)］　【事業者 ： 滋賀県】

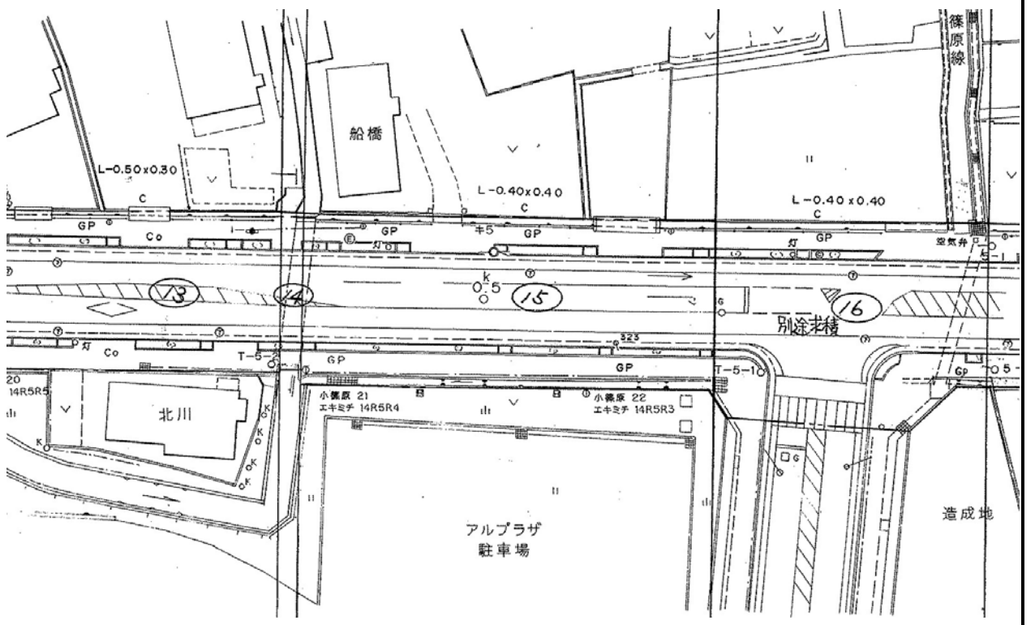
［位置図］



［整備方針］

滋賀県歩道整備マニュアル（平成 16 年 5 月）に則って、安全・快適に利用できる歩行空間を創出する.

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①歩道の一部拡幅	L=820m×2					→	→		●			
②段差・勾配・高低差の改良	L=820m×2					→	→		●			
③路面・舗装の改良	L=820m×2					→	→		●			
④障害物の解消	L=820m×2		→	→	→	→	→	→	●			
⑤視覚障害者誘導用ブロックの色調明度・配置改良	L=820m×2		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］

現在のところ計画図面なし。

今後セミフラットタイプで検討予定。

［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

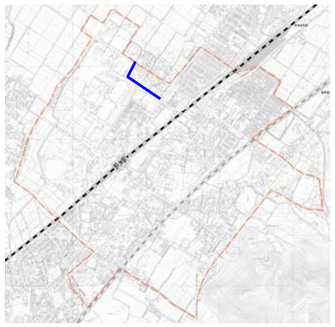
・国-1・2（準特定経路：国道 8 号）・野洲駅南口駅前広場・市-7（特定経路：市道小篠原稲辻線）・市-11・12（特定経路：市道野洲中央線）・市-8（準特定経路）・市-15（準特定経路：市道中畑小篠原線）・市-21（その他の経路）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 路面が凸凹しているので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・ 歩道と車道の段差が大きいので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・ 水路により幅員が一部狭くなっているので通行しにくい（車いす使用者）
・ 幅員の狭い所は後ろから自転車が来たら接触してしまう危険性がある（視覚障害者）
・ 植栽で信号やバス停が見えにくくなっている（高齢者）
・ インターロッキングブロック歩道は視界が混乱して、どこを歩いたらいいのかわからなくなってしまう（視覚障害者）
・ 視覚障害者誘導用ブロックがグレーチング等で途切れている（視覚障害者）

［路線名 ： 市道 久野部竹田線・久野部西線（市-1 ： 準特定経路）　（延長：約 390 m)］　【事業者 ： 野洲市】

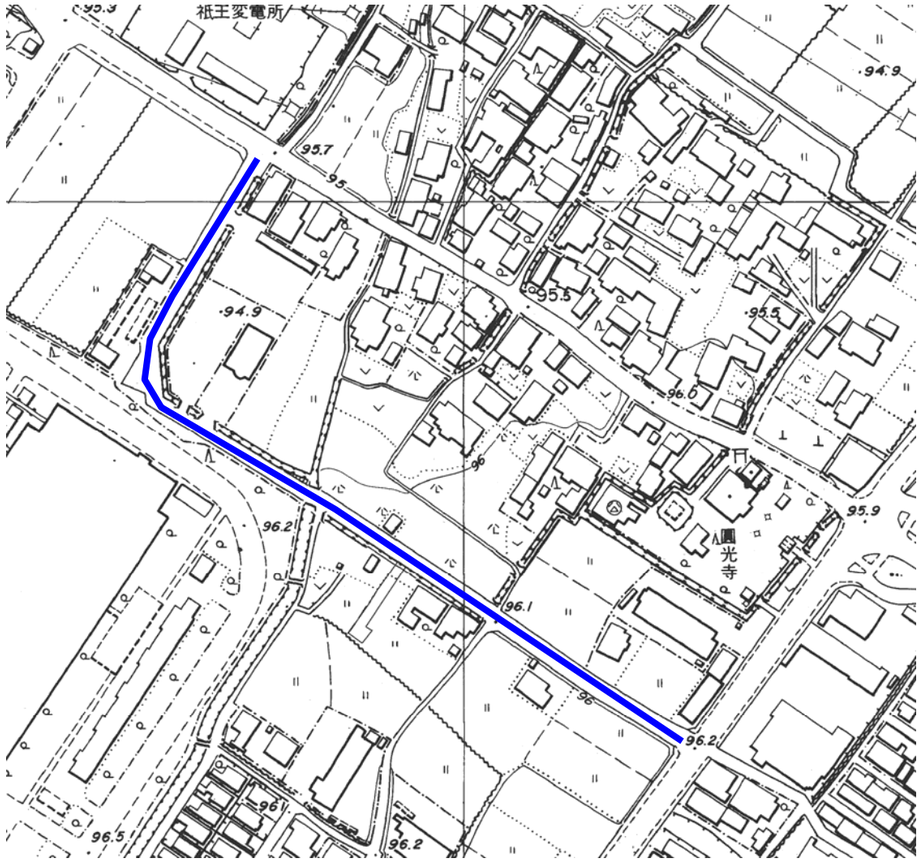
［位置図］



［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

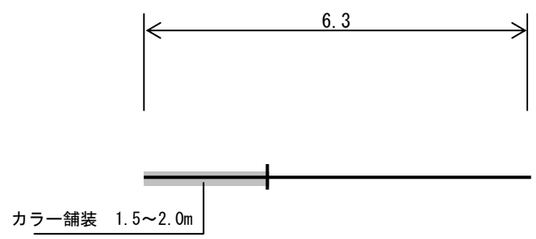
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度） 17	18	19	20	21	22	～	事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者 道路管理者	公安委員会	その他事業者	備　考（実施状況等）
①高低差の改良	L＝390m		→	→	→	→	→		●			
②人にやさしい生活道路の整備	L＝390m		→	→	→	→	→		●	○		
③障害物の解消	L＝390m		→	→	→	→	→		●			

［標準断面図・その他関連図　等］



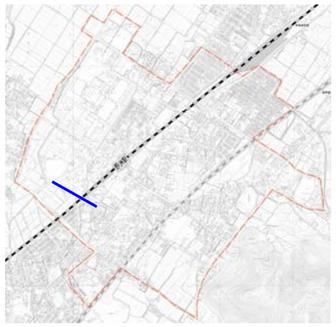
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・県-2(その他の経路:県道木部野洲線)・県-5(その他の経路:主要地方道大津能登川長浜線)整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・ 水路への転落防止対策が取られていないので、電動車いすはすぐに落ちてしまう可能性が大きい。早急に縁石や防護柵などを設置するなどの対策を取る必要がある(地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者)

［路線名 ： 市道 三上市三宅線（市-5 ： 準特定経路）　（延長：約 350 m)］　【事業者 ： 野洲市】

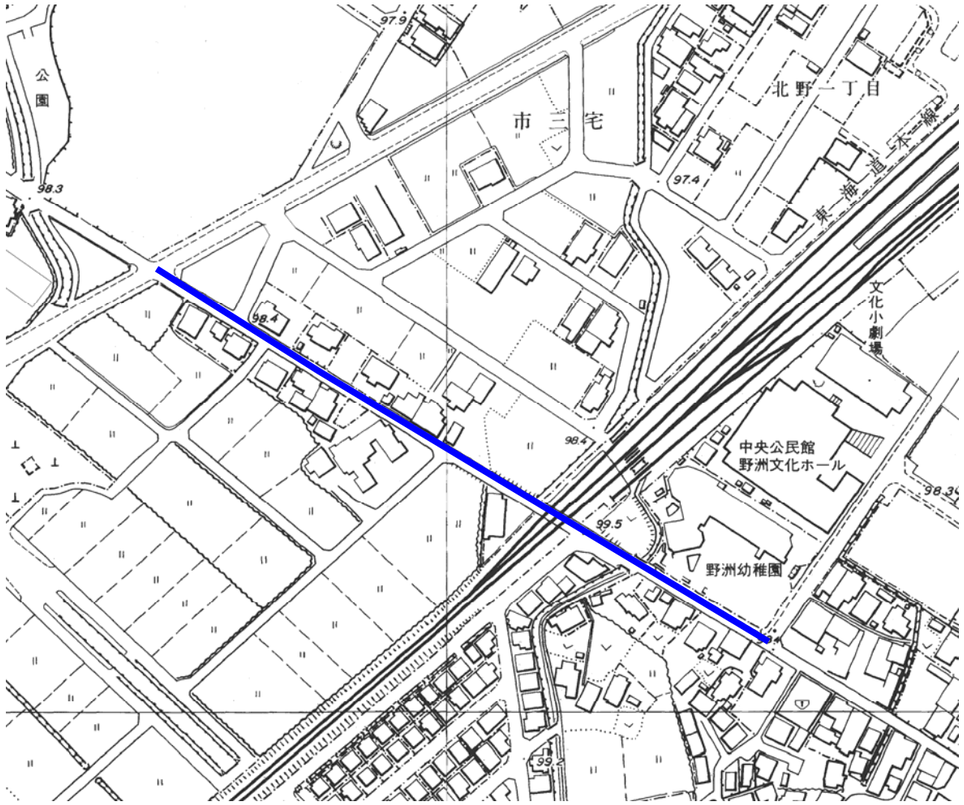
［位置図］



［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

［概略平面図・事業実施個所図　等］

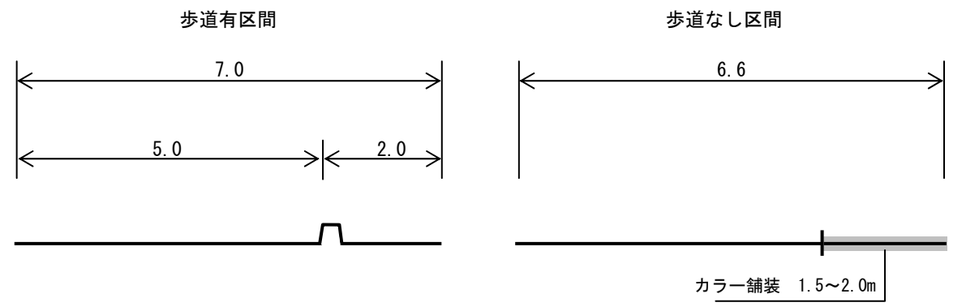


［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 （実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①路面・舗装の改良	L＝350m		→	→	→	→	→	→	●			
②障害物の解消	L＝350m		→	→	→	→	→	→	●			
③視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝60m		→	→	→	→	→	→	●			
④人にやさしい生活道路の整備	L＝290m		→	→	→	→	→	→	●	○		

※2010 年以降に、ＪＲとの連携・協議による踏切部の改善についての検討を実施

［標準断面図・その他関連図　等］



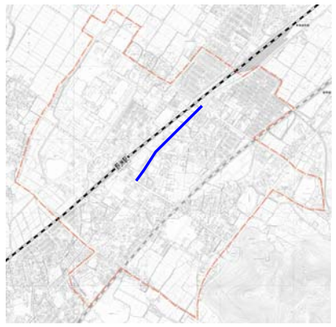
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・県-6（特定経路：主要地方道大津能登川長浜線）・市-4（特定経路：市道野洲南線）・市-20（その他の経路：市道三上市三宅線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・ 踏切のレールの間に車いすの車輪がはまってしまう（車いす使用者）
・ 踏切は車と歩行者が混同して危険なので、歩行者専用の通行帯がほしい（聴覚障害者）
・ 後ろから来る車がわからないので歩道の整備が必要（聴覚障害者）
・ 踏切が狭いので、特に朝夕のラッシュ時は危険（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・ 歩道がないので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 小篠原稲辻線 （市-8 ： 準特定経路） （延長：約 690 m)］ 【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①路面・舗装の改良	L＝690m		→	→	→	→	→		●			
②人にやさしい生活道路の整備	L＝690m		→	→	→	→	→		●	○		

［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

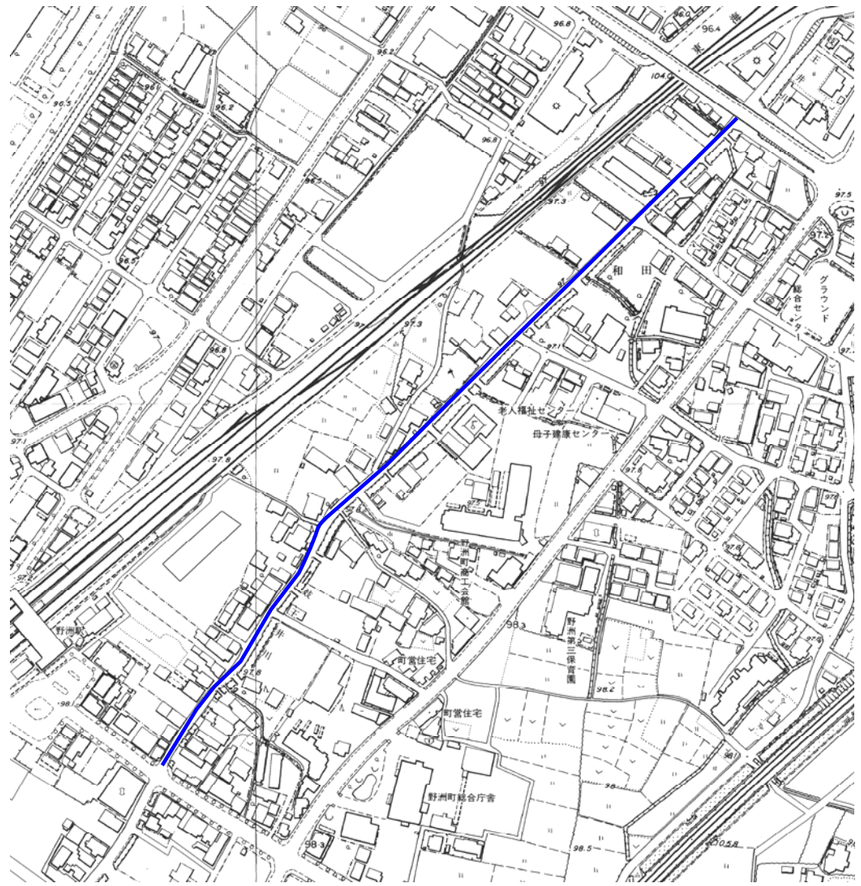
【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・県-7(準特定経路:県道野洲停車場線)・県-3(その他の経路:県道木部野洲線)・市-7(特定経路:市道小篠原稲辻線)・市-9(準特定経路:市道西今六ノ坪線)整備との整合

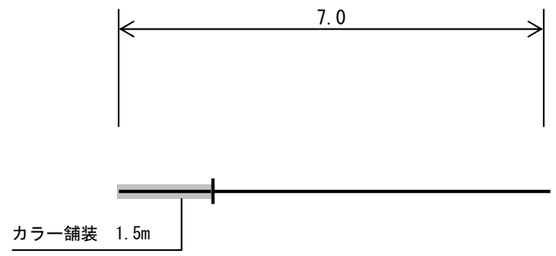
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 午前 7～9 時の一方通行規制を守らない車が多いので危険(地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者)
・ グレーチングの隙間が広い(視覚障害者)
・ 道路に埋め込んである注意灯につまづく(視覚障害者)
・ 五反田からの通勤道路として非常に多くの人が利用しているので、片側だけでも歩道を設置してほしい(車いす使用者)
・ 車の通行が多く危険なので、生活道路としての優先的な整備が必要(地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者)

［概略平面図・事業実施個所図　等］

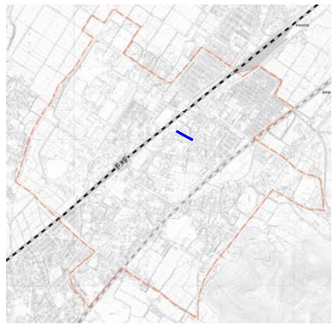


［標準断面図・その他関連図　等］



［路線名 ： 市道 西今六ノ坪線（市-9 ： 準特定経路）　（延長：約 120 m)］　【事業者 ： 野洲市】

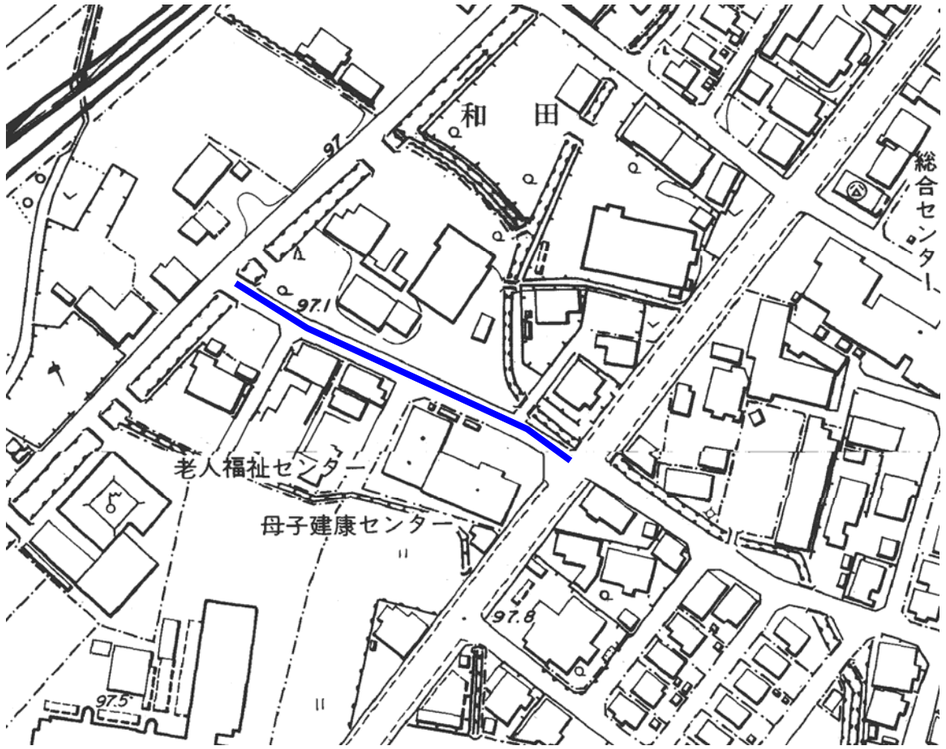
［位置図］



［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

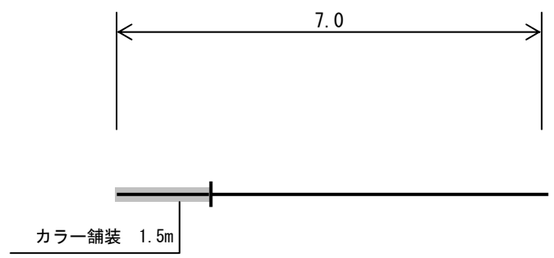
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考（実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①路面・舗装の改良	L＝120m		→	→	→	→	→	→	●			
②人にやさしい生活道路の整備	L＝120m		→	→	→	→	→	→	●	○		

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

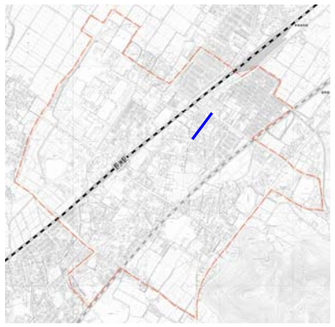
・市-11（特定経路：市道野洲中央線）・市-8（準特定経路）・市-10（準特定経路：市道野洲中央線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 表面が凸凹で通りにくい（車いす使用者）

［路線名 ： 市道 野洲中央線（市-10 ： 準特定経路）　（延長：約 220 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



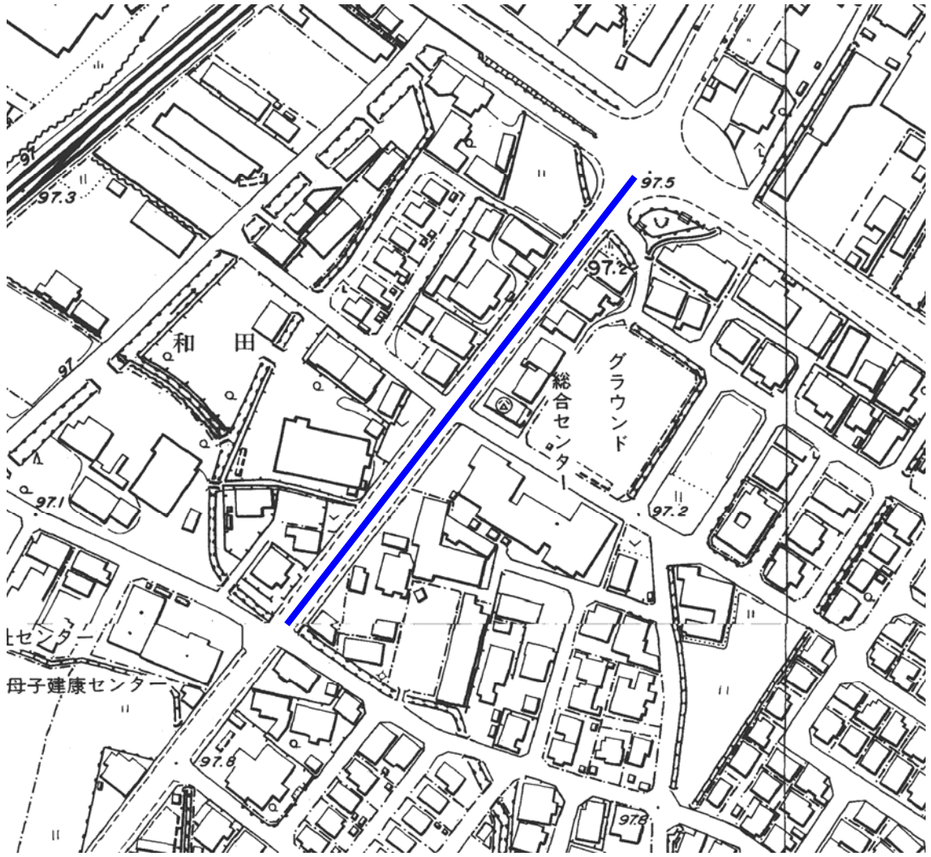
［整備方針］

横断歩道部等の段差・勾配を解消し、安全・快適な歩行空間を整備する。

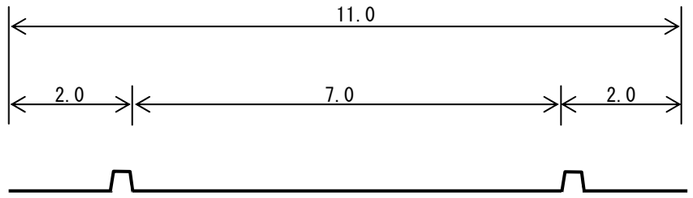
［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①段差・勾配の改良	L＝220m×2		→	→	→	→	→	→	●			
②路面・舗装の改良	L＝220m×2		→	→	→	→	→	→	●			
③障害物の解消	L＝220m×2		→	→	→	→	→	→	●			
④視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝220m×2		→	→	→	→	→	→	●			
⑤久野部跨線橋東交差点歩道部の改良（視覚障害者誘導用ブロックの整備）	1 箇所		→	→	→	→	→		●			

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

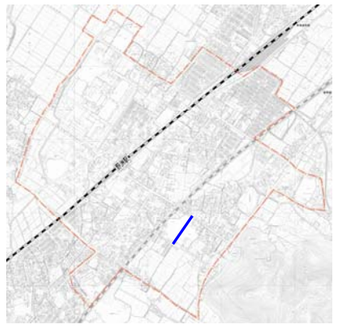
・県-3・4（その他の経路：県道木部野洲線）・市-11（特定経路：市道野洲中央線）・市-22（準特定経路：市道小篠原上屋線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 歩道が狭いので、点字ブロックが車いすの通行の妨げになってしまっている（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 市道　中畑小篠原線（市-15 ： 準特定経路）　（延長：約 230 m)］　【事業者 ： 野洲市】

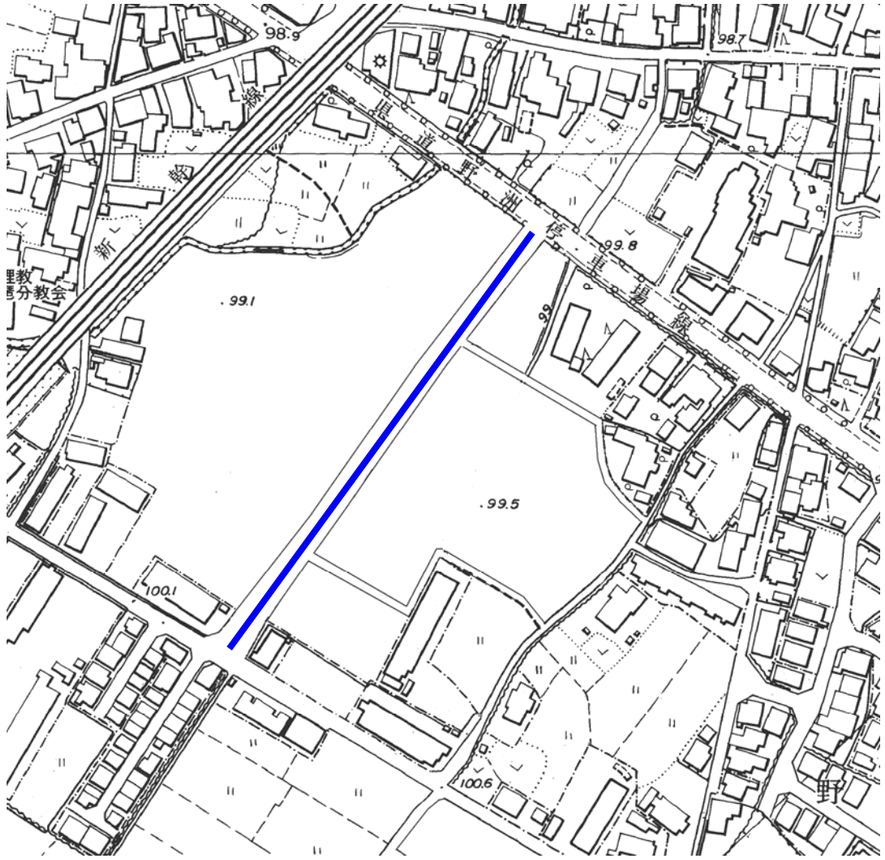
［位置図］



［整備方針］

誰もが使いやすい歩道を整備する。

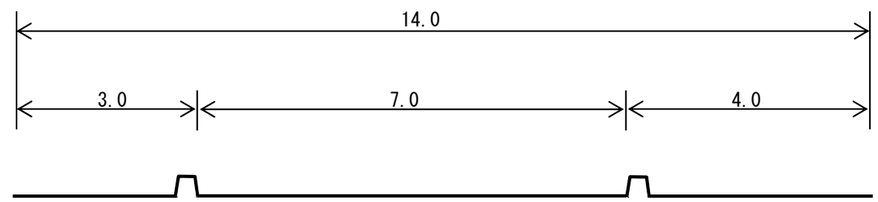
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①路面・舗装の改良	L＝230m×2		→	→	→	→	→	→	●			
②障害物の解消	L＝230m×2		→	→	→	→	→		●			
③視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝230m×2		→	→	→	→	→	→	●			

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・県-7（準特定経路：県道野洲停車場線）・市-14（その他の経路：市道野洲小篠原線）整備との整合

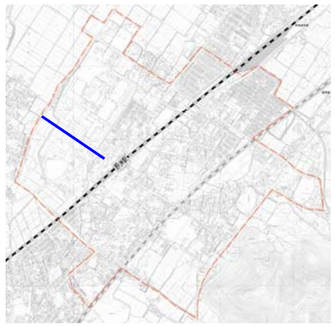
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 野洲小篠原線とのＴ字路には、横断歩道が必要（聴覚障害者）

・ 野洲小篠原線とのＴ字路のカーブミラーが見えにくいので、車道ぎりぎりの所で安全確認しなければならないので危険（聴覚障害者）

［路線名 ： 市道 北口線（市-16 ： 準特定経路）　（延長：約 560 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



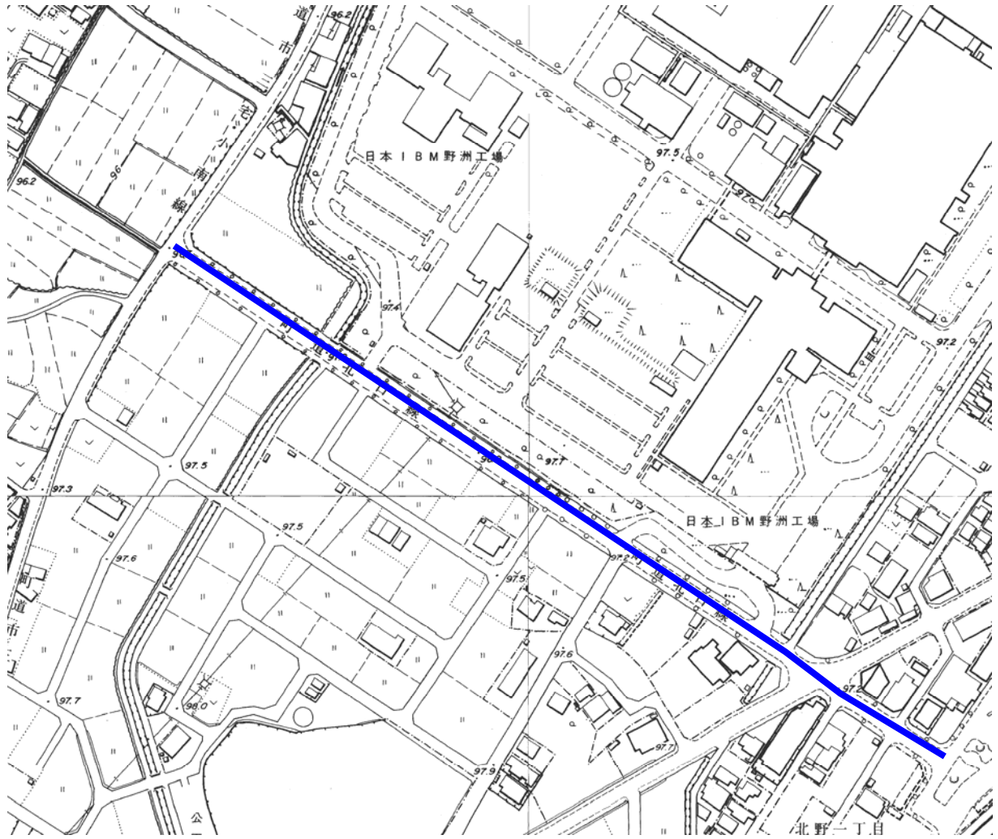
［整備方針］

歩道のセミフラット化により、安全快適な歩行空間を創出する。

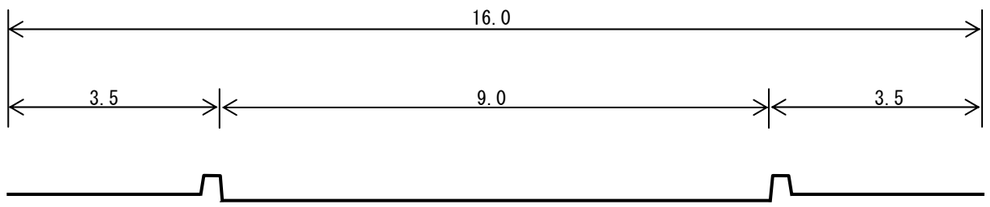
［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①段差・勾配の改良	L＝560m×2		→	→	→	→	→	→	●			
②路面・舗装の改良	L＝560m×2		→	→	→	→	→	→	●			
③障害物の解消	L＝560m×2		→	→	→	→	→	→	●			
④視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝560m×2		→	→	→	→	→		●			

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

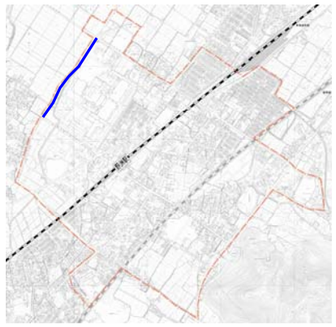
・野洲駅北口駅前広場・県-6（特定経路：主要地方道大津能登川長浜線）・県-5（その他の経路：主要地方道大津能登川長浜線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 目地ががたついていて通りにくいので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 市道 市三宅小南線（市-17 ： 準特定経路）　（延長：約 690 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



［整備方針］

横断勾配の改良等により、安全快適な歩道を整備する。

［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①高低差の改良	L＝690m		→	→	→	→	→	→	●			
②路面・舗装の改良	L＝690m×2		→	→	→	→	→	→	●			
③視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝690m×2		→	→	→	→	→		●			

［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

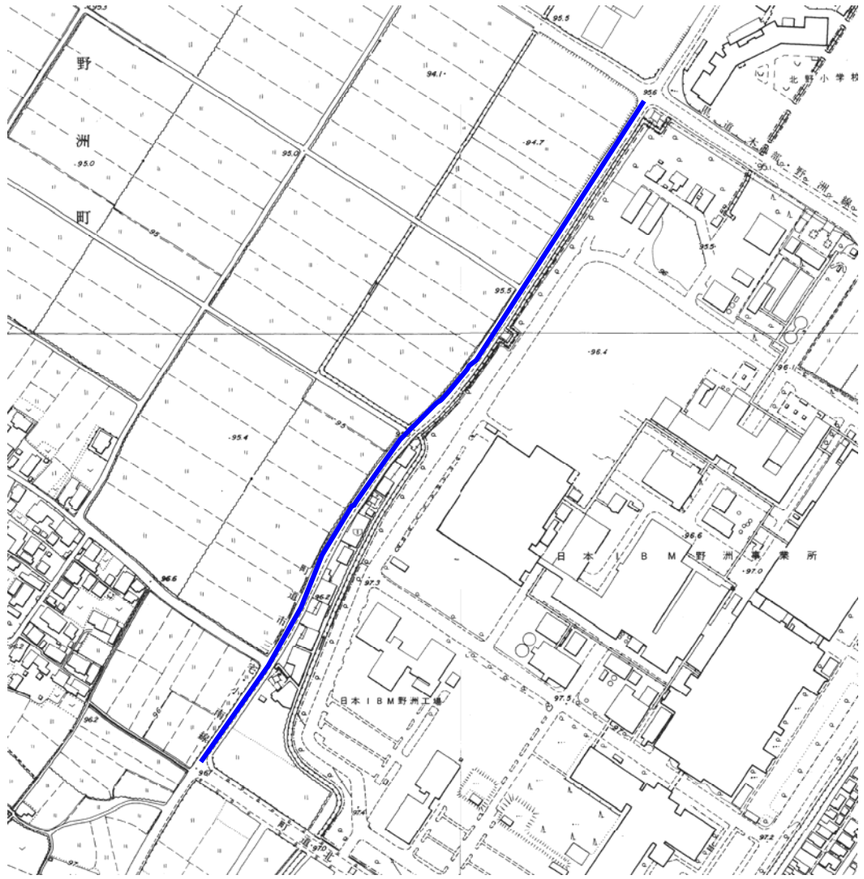
【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・県-1（特定経路：県道木部野洲線）・市-16（準特定経路：市道北口線）・市-25（準特定経路：市道市三宅北桜線）整備との整合

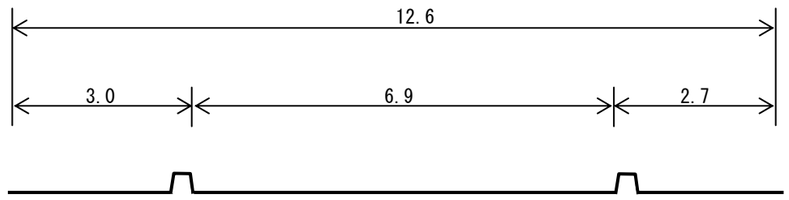
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 水田への転落防止対策が何も取られていない（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［概略平面図・事業実施個所図　等］

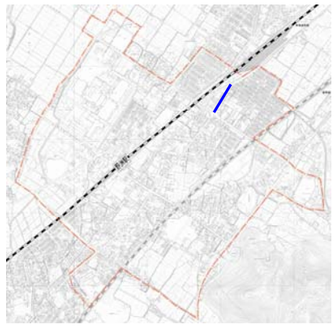


［標準断面図・その他関連図　等］



［路線名 ： 市道 小篠原上屋線（市-22 ： 準特定経路）　（延長：約 340 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



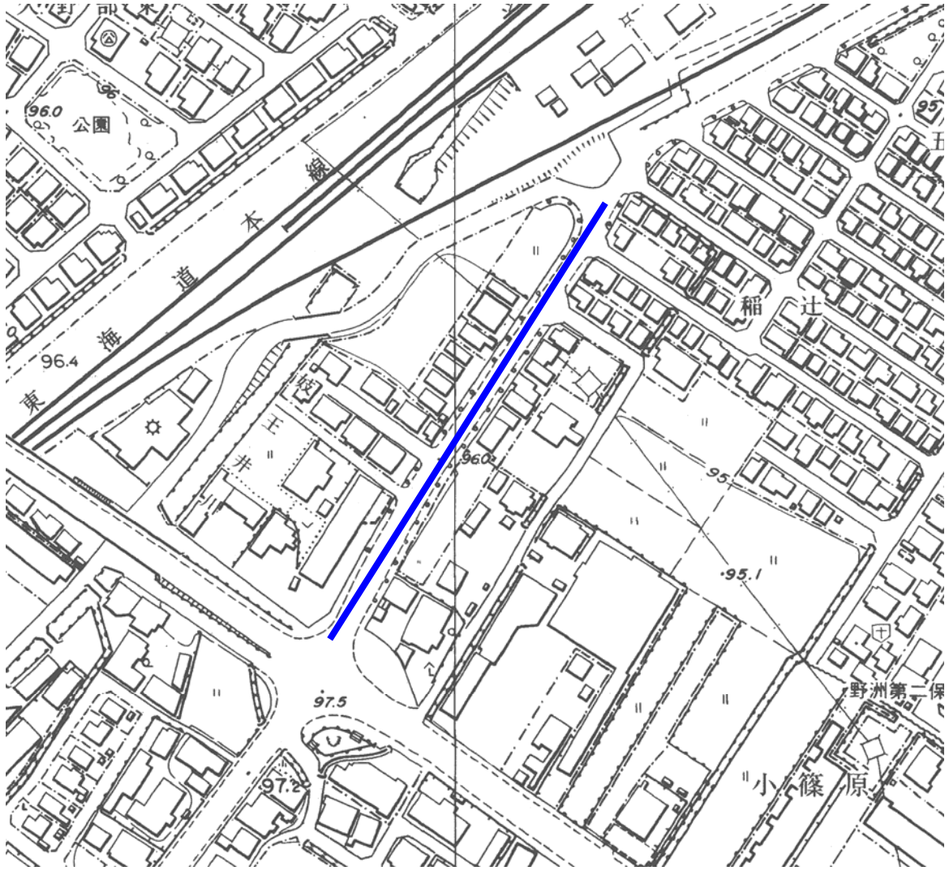
［整備方針］

（整備済）

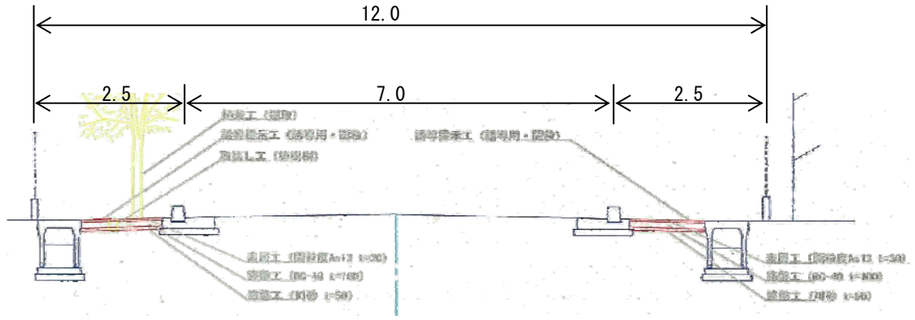
［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①歩道有効幅員の拡幅												平成 16 年度 整備済
②障害物の解消												

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

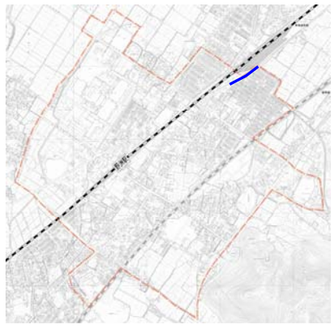
・県-3・4（その他の経路：県道木部野洲線）・市-10（準特定経路：市道野洲中央線）・市-23（準特定経路：市道小篠原上屋線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施したワークショップにおける主な意見】

・ 狭くて危険な歩道なので、整備してほしい

［路線名 ： 市道 小篠原上屋線（市-23 ： 準特定経路）　（延長：約 200 m)］　【事業者 ： 野洲市】

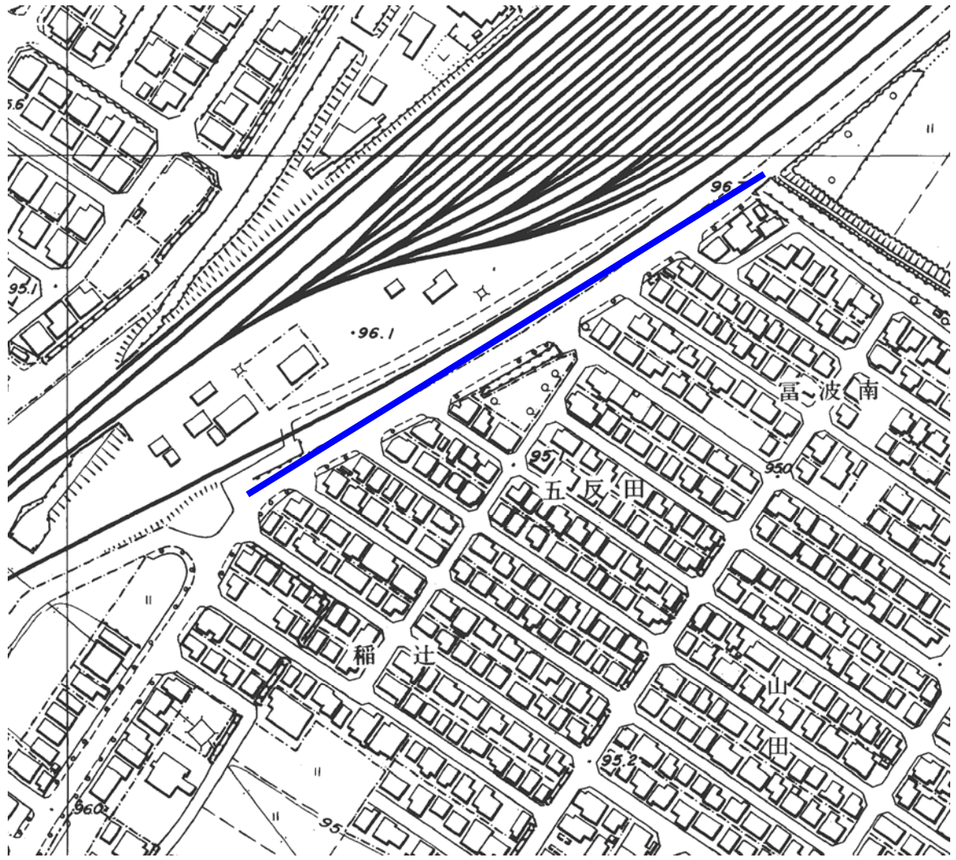
［位置図］



［整備方針］

（整備済）

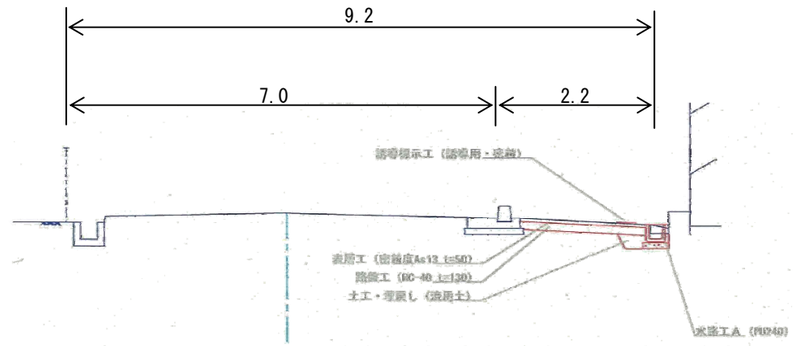
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①歩道有効幅員の拡幅												平成 16 年度整備済
②障害物の解消												

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

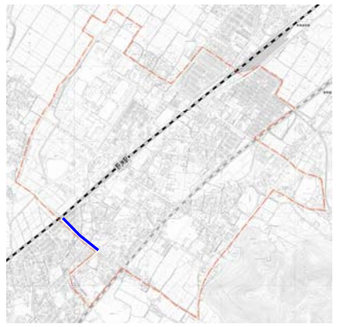
・市-22（準特定経路：市道小篠原上屋線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施したワークショップにおける主な意見】

・ 狭くて危険な歩道なので、整備してほしい

［路線名 ： 市道 市三宅北桜線（市-25 ： 準特定経路）　（延長：約 340 m)］　【事業者 ： 野洲市】

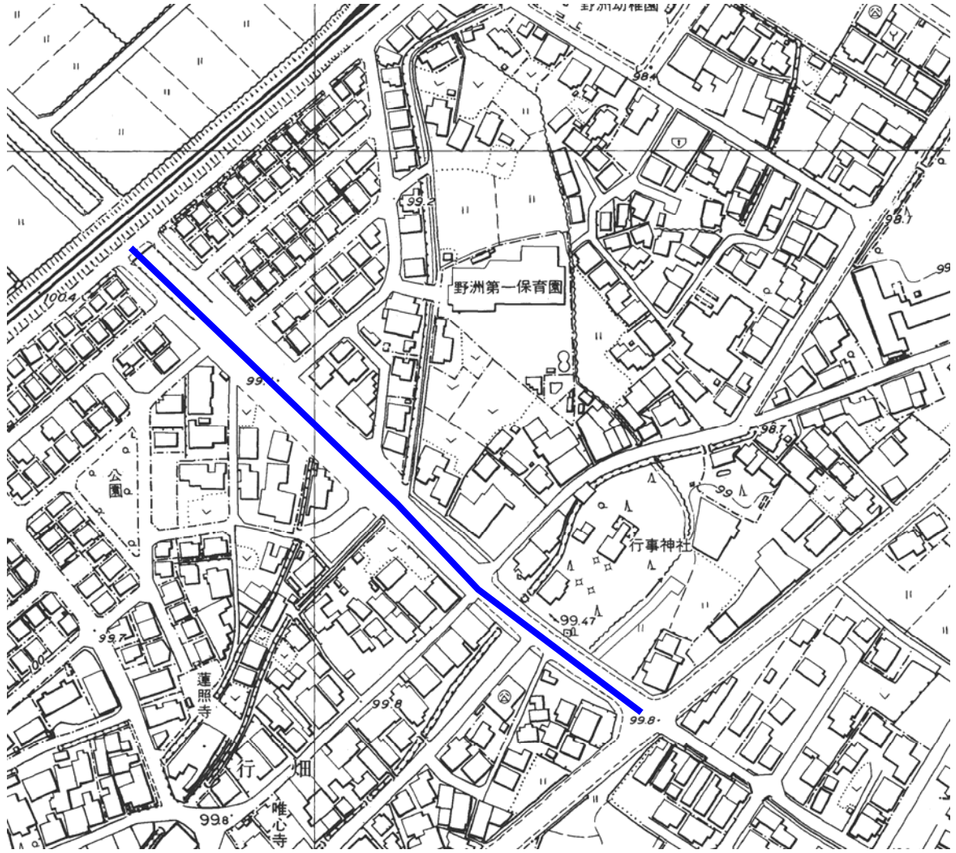
［位置図］



［整備方針］

誰もが使いやすい歩道を整備する。

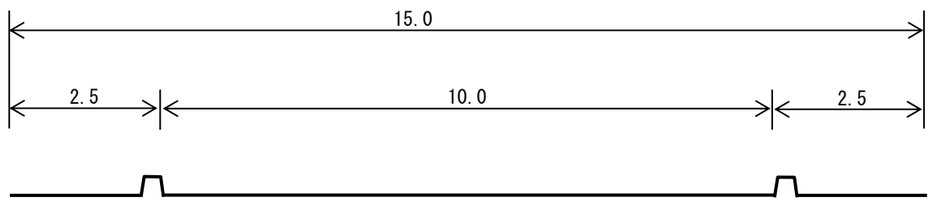
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 （実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①路面・舗装の改良	L＝340m×2		→	→	→	→	→	→	●			
②障害物の解消	L＝340m×2		→	→	→	→	→	→	●			
③視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝340m×2		→	→	→	→	→	→	●			

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

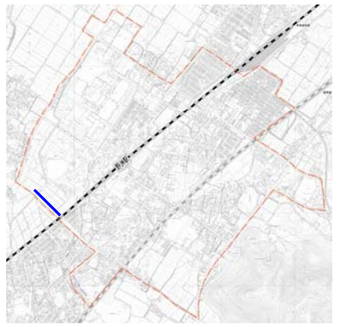
【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・市-13（特定経路：市道野洲中央線）・市-24（特定経路：都市計画道路市三宅北桜線）・市-26（準特定経路：市道市三宅北桜線）・市-31・33（準特定経路：市道三上市三宅線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見：なし（歩行点検調査対象外経路のため）】

［路線名 ： 市道 市三宅北桜線（市-26 ： 準特定経路）　（延長：約 240 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



［整備方針］

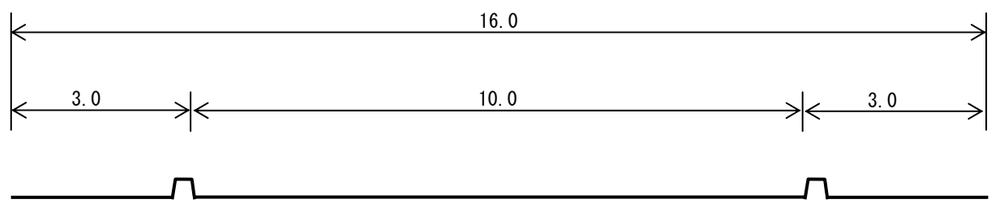
誰もが使いやすい歩道を整備する。

［概略平面図・事業実施個所図　等］

［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①歩道の設置（一部）	L＝13m×2		→	→	→	→	→	→	●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝240m		→	→	→	→	→	→	●			

［標準断面図・その他関連図　等］



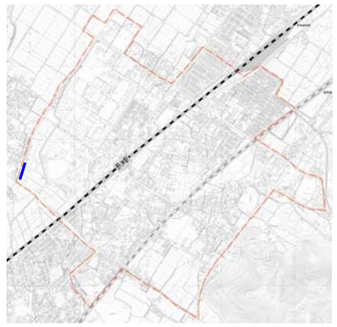
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・県-6（特定経路：主要地方道大津能登川長浜線）・市-27（特定経路：市三宅北桜線）・市-25（準特定経路：市道市三宅北桜線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 市三宅小南線（市-28 ： 準特定経路）　（延長：約 130 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



［整備方針］

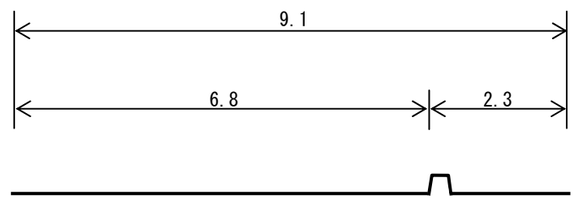
誰もが使いやすい歩道を整備する。

［概略平面図・事業実施個所図　等］

［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝130m		→	→	→	→	→	→	●			

［標準断面図・その他関連図　等］



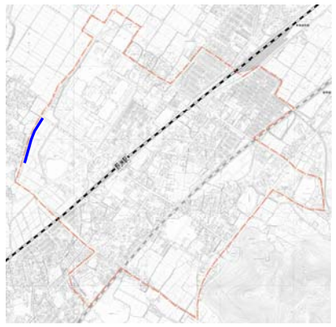
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・市-27(特定経路:市三宅北桜線)・市-29(準特定経路:市道市三宅小南線)整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 市三宅小南線（市-29 ： 準特定経路） （延長：約 340 m)］ 【事業者 ： 野洲市】

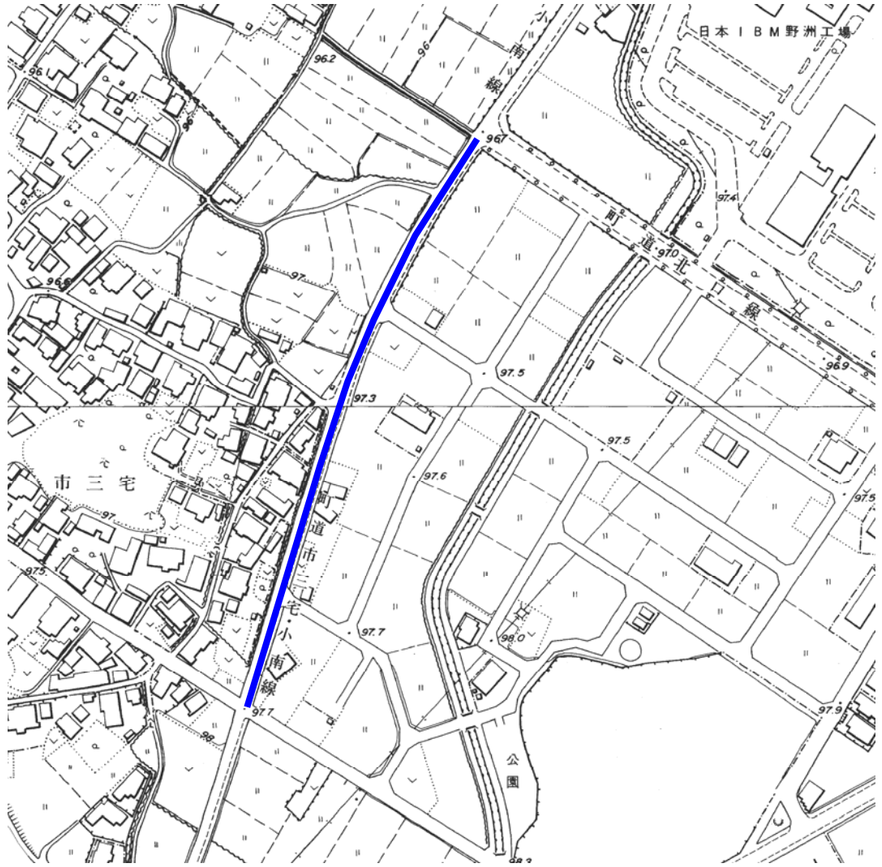
［位置図］



［整備方針］

誰もが使いやすい歩道を整備する。

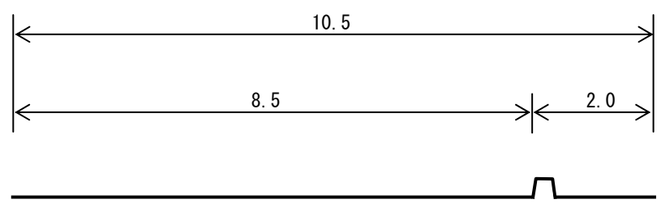
［概略平面図・事業実施個所図 等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備 考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①路面・舗装の改良	L＝340m		→	→	→	→	→	→	●			
②障害物の解消	L＝340m		→	→	→	→	→	→	●			
③視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝340m		→	→	→	→	→	→	●			

［標準断面図・その他関連図 等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

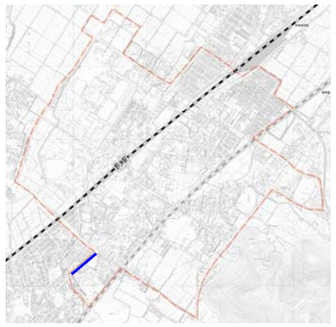
・市-16(準特定経路:市道北口線)・市-17(準特定経路:市道市三宅小南線)・市-28(準特定経路:市道市三宅小南線)整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 野洲中央線（市-31 ： 準特定経路）　（延長：約 240 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



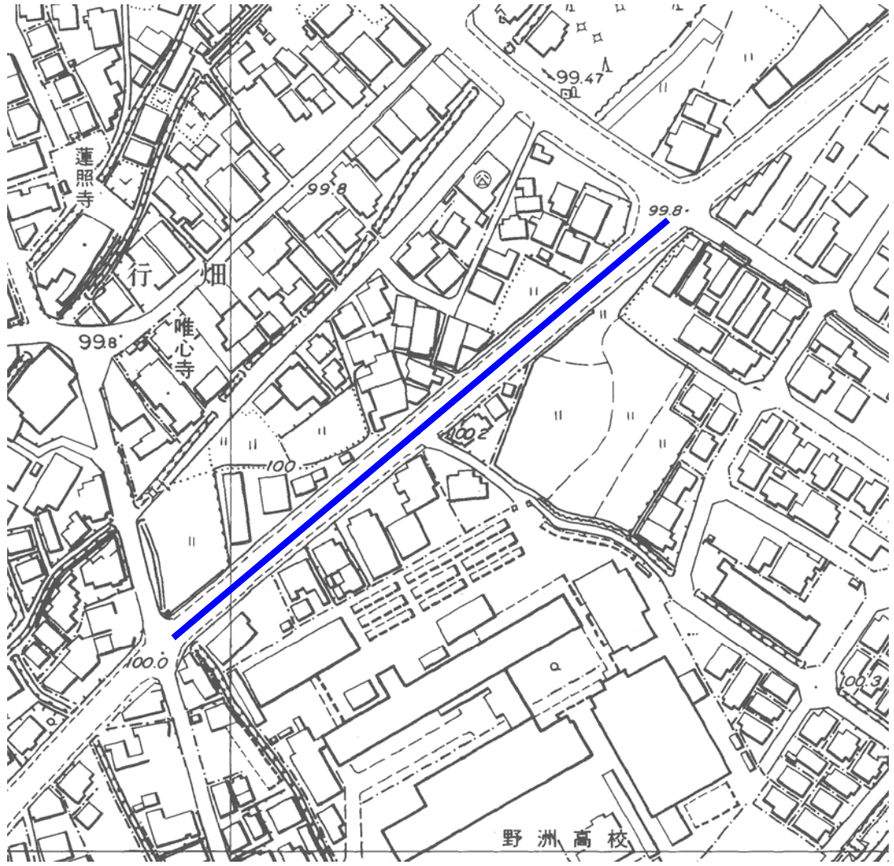
［整備方針］

誰もが使いやすい歩道を整備する。

［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①高低差の解消	L＝60m		→	→	→	→	→	→	●			
②視覚障害者誘導用ブロックの整備	L＝240m		→	→	→	→	→	→	●			

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

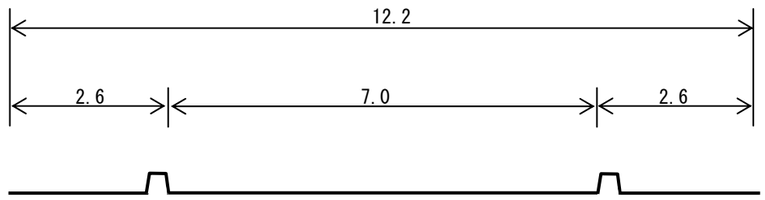
【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・市-13(特定経路:市道野洲中央線)・市-24(特定経路:都市計画道路市三宅北桜線)・市-25(準特定経路:市道市三宅小南線)整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

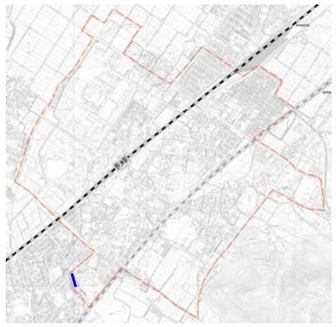
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［標準断面図・その他関連図　等］



［路線名 ： 市道 三上市三宅線（市-32 ： 準特定経路）　（延長：約 100 m)］　【事業者 ： 野洲市】

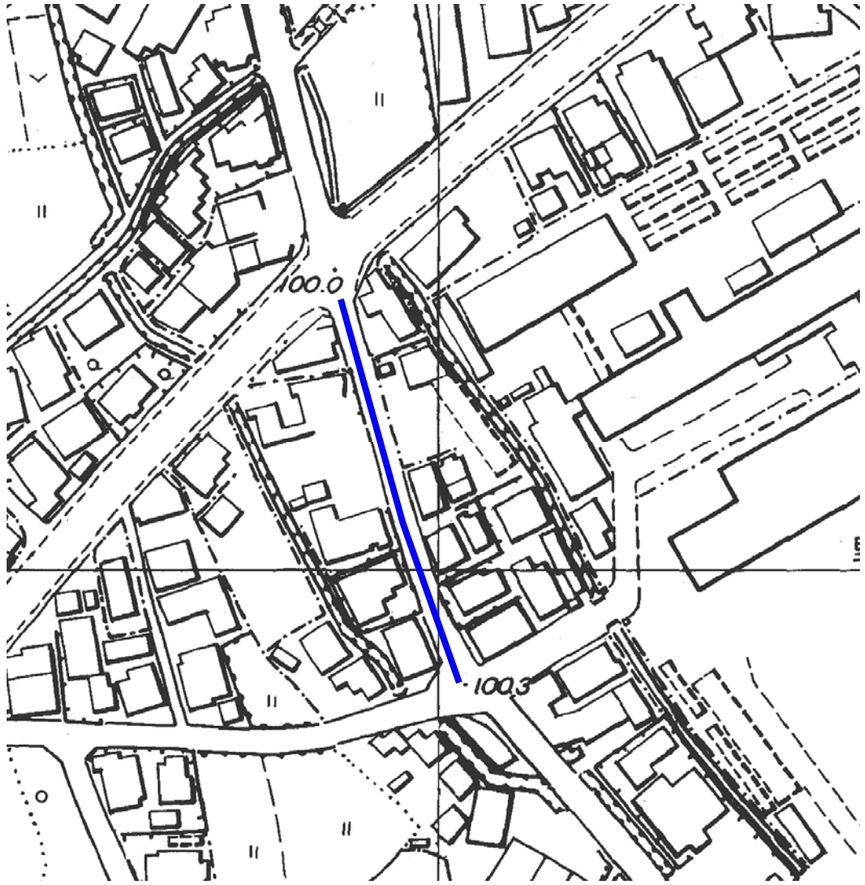
［位置図］



［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

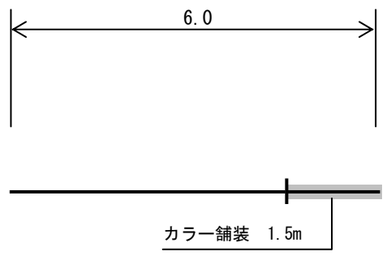
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①人にやさしい生活道路の整備	L＝100m		→	→	→	→	→	→	●	○		

［標準断面図・その他関連図　等］



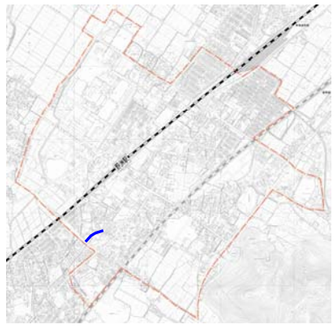
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・市-31(準特定経路:三上市三宅線)整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 三上市三宅線（市-33 ： 準特定経路）　（延長：約 150 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



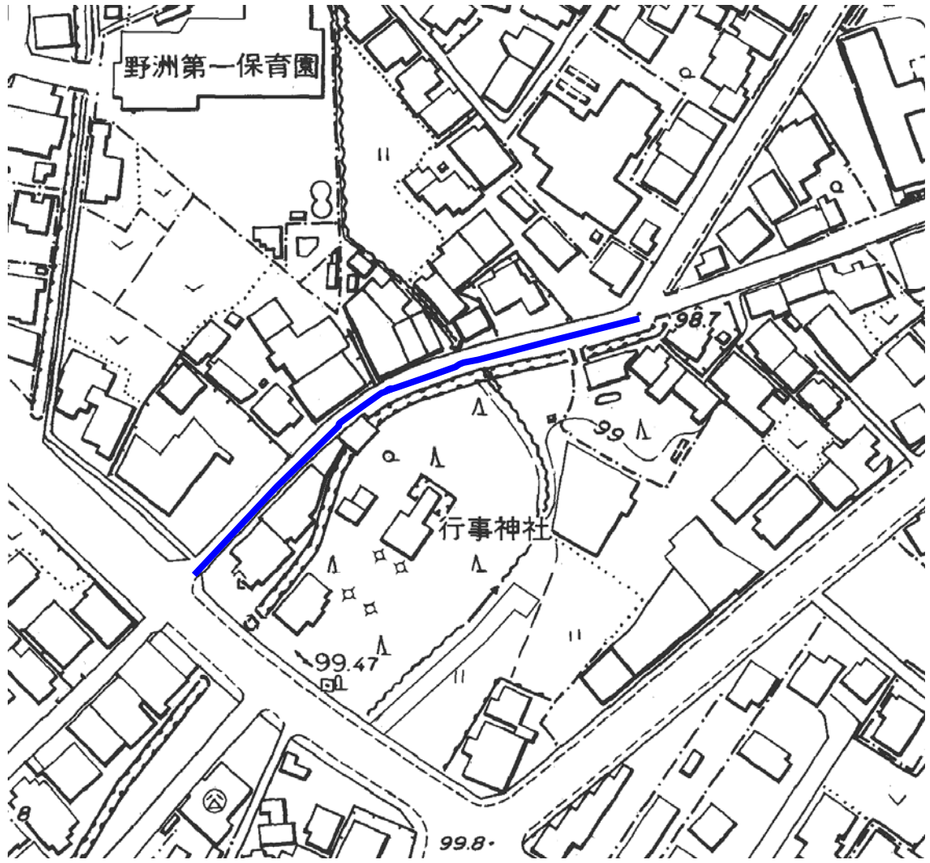
［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

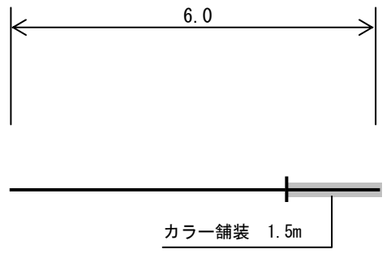
［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①人にやさしい生活道路の整備	L＝150m	→	→	→	→	→	→	→	●	○		

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・市-7(特定経路:市道小篠原稲辻線)・市-25(準特定経路:市道市三宅北桜線)市-21(その他の経路)整備との整合

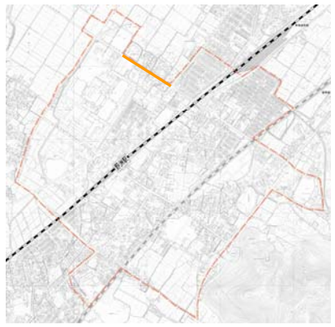
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

■その他の経路

［路線名 ： 県道 木部野洲線 （県-2 ： その他の経路） （延長：380 m)］ 【事業者 ： 滋賀県】

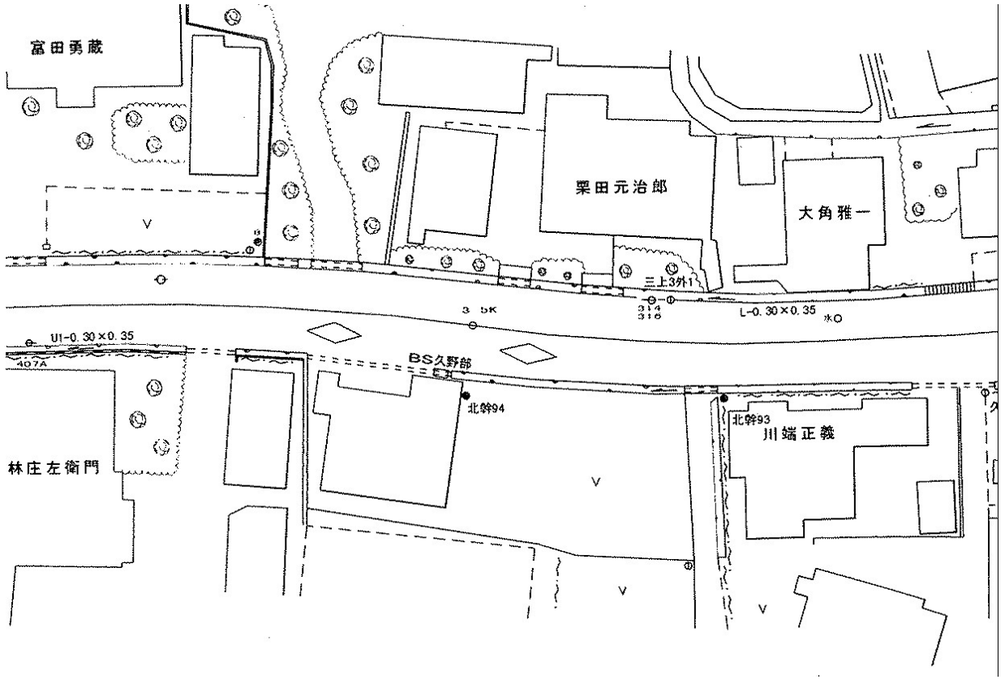
［位置図］



［整備方針］

滋賀県歩道整備マニュアル（平成 16 年 5 月）に則って、安全・快適に利用できる歩行空間を創出する.

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①歩道の設置	L=380m							→	●			

［標準断面図・その他関連図　等］

歩道計画について未定。

［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

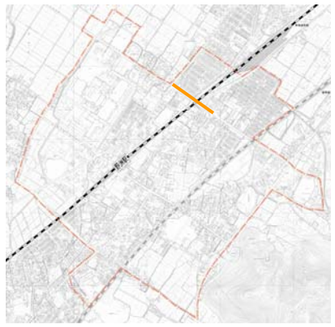
・県-1（特定経路：県道木部野洲線）・県-8（特定経路：主要地方道大津能登川長浜線）・県-3（その他の経路：県道木部野洲線）・県 5（その他の経路：主要地方道大津能登川長浜線）・市-1（準特定経路：市道久野部西線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 歩道がなく、とても危険なので、コミュニティセンターきたのに行けない（視覚障害者）
・ 歩道がないので、生活道路として優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［路線名 ： 県道 木部野洲線（県-3 ： その他の経路）　（延長：310m）］　【事業者 ： 滋賀県】

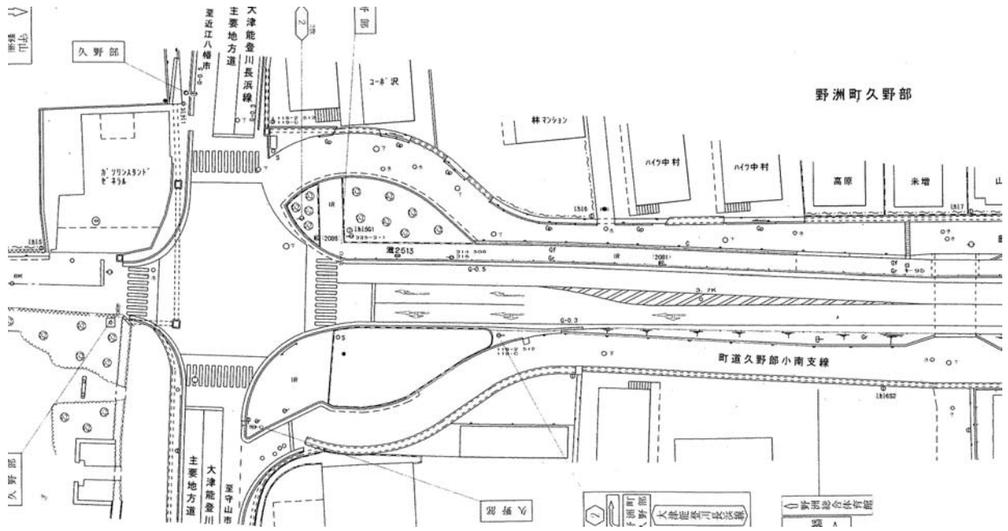
［位置図］



［整備方針］

滋賀県歩道整備マニュアル（平成 16 年 5 月）に則って、安全・快適に利用できる歩行空間を創出する.

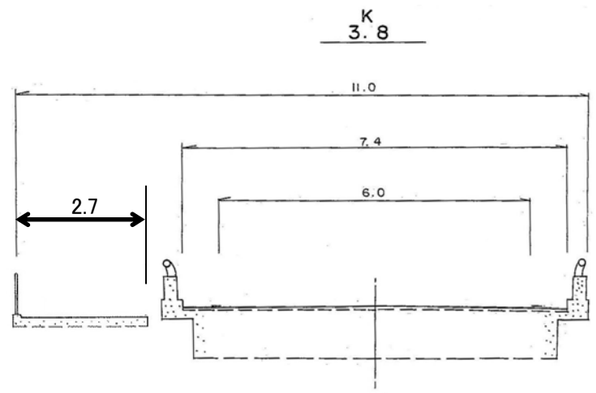
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考（実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①段差・勾配・高低差の改良	L=310m							→	●			
②路面・舗装の改良	L=310m							→	●			
③障害物の解消	L=310m							→	●			
④視覚障害者誘導用ブロックの整備	L=310m							→	●			
⑤久野部交差点北側歩道部の改良									●			整備済み

［標準断面図・その他関連図　等］



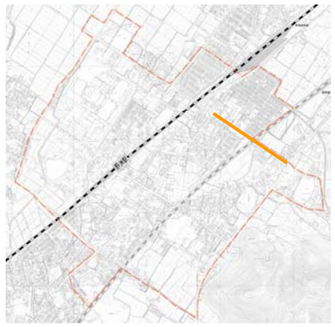
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・県-8（特定経路：主要地方道大津能登川長浜線）・県-2・4（その他の経路：県道木部野洲線）・市-8（準特定経路）・市-10（準特定経路：市道野洲中央線）・市-22（準特定経路：市道小篠原上屋線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 県道 木部野洲線（県-4 ： その他の経路）　（延長：580m）］　【事業者 ： 滋賀県】

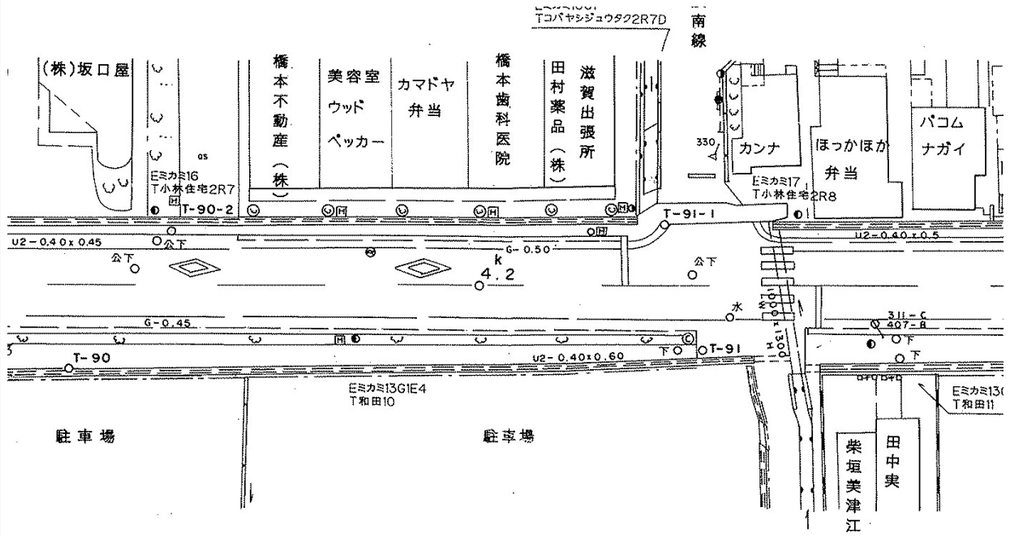
［位置図］



［整備方針］

滋賀県歩道整備マニュアル（平成 16 年 5 月）に則って、安全・快適に利用できる歩行空間を創出する.

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度） 17	18	19	20	21	22	～	事業主体 ●：主体となる事業者 ○：連携が必要となる事業者 道路管理者	公安委員会	その他事業者	備　考（実施状況等）
①歩道の拡幅	L=580m							→	●			
②段差・勾配・高低差の改良	L=580m							→	●			
③路面・舗装の改良	L=580m							→	●			
④障害物の解消	L=580m		→	→	→	→	→	→	●			
⑤視覚障害者誘導用ブロックの整備	L=580m							→	●			

※平成 25 年度より着手予定

［標準断面図・その他関連図　等］

現在のところ計画図面なし。

今後セミフラットタイプで検討予定。

［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・国-1（準特定経路：国道 8 号）・県-3（その他の経路：県道木部野洲線）・市-18（特定経路：小篠原三ツ坂線）・市-10（準特定経路：市道野洲中央線）・市-22（準特定経路：市道小篠原上屋線）・市-21（その他の経路）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 田んぼへの転落防止柵がないので、落ちる危険性がある（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・ 側溝蓋がガタガタして危険（視覚障害者）
・ 丸善前のグレーチングの隙間に白杖がはまってしまう（視覚障害者）
・ 路面が凸凹して通りにくいので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

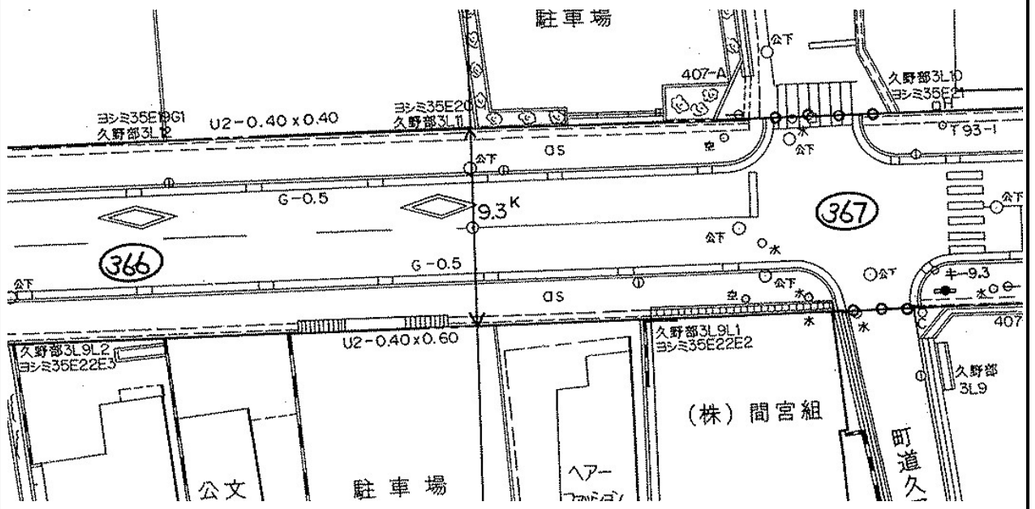
［路線名 ： 主要地方道 大津能登川長浜線（県-5 ： その他の経路）　（延長：約 700m)］　【事業者 ： 滋賀県】

［位置図］

［整備方針］

滋賀県歩道整備マニュアル（平成 16 年 5 月）に則って、安全・快適に利用できる歩行空間を創出する.

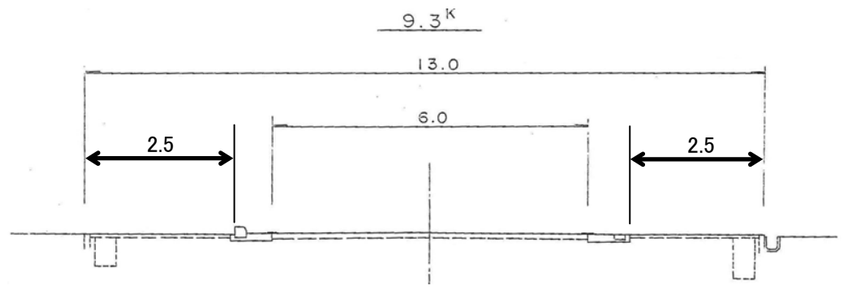
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①歩道の一部拡幅	L=700m×2								●			整備済み
②路面・舗装の改良	L=700m×2								●			整備済み
③障害物の解消	L=700m×2		→	→	→	→	→	→	●			
④視覚障害者誘導用ブロックの整備	L=700m×2								●			整備済み

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・県-6・8（特定経路：主要地方道大津能登川長浜線）・市-2（特定経路：市道野洲駅北口支線）・市-1（準特定経路：市道久野部西線）・市-16（準特定経路：市道北口線）整備との整合

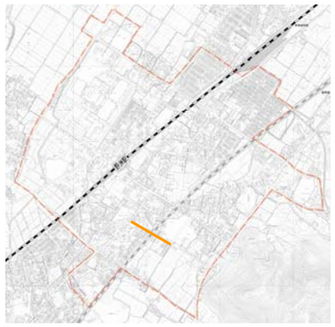
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・側溝やグレーチングと路面に段差がある（車いす使用者）

・後ろから来る自転車と接触しそうになるので、歩行者と自転車を区分してほしい（聴覚障害者）

［路線名 ： 市道 野洲小篠原線（市-14 ： その他の経路）　（延長：約 310 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］



［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①人にやさしい生活道路の整備	L＝310m							→	●	○		
②高低差の改良	L＝310m		→	→	→	→	→	→	●			
③路面・舗装の改良	L＝310m		→	→	→	→	→	→	●			
④障害物の解消	L＝310m		→	→	→	→	→	→	●			
⑤野洲小篠原線と中畑小篠原線の交差点部視覚障害者誘導用ブロックの整備	1 箇所		→	→	→	→	→	→	●			

［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

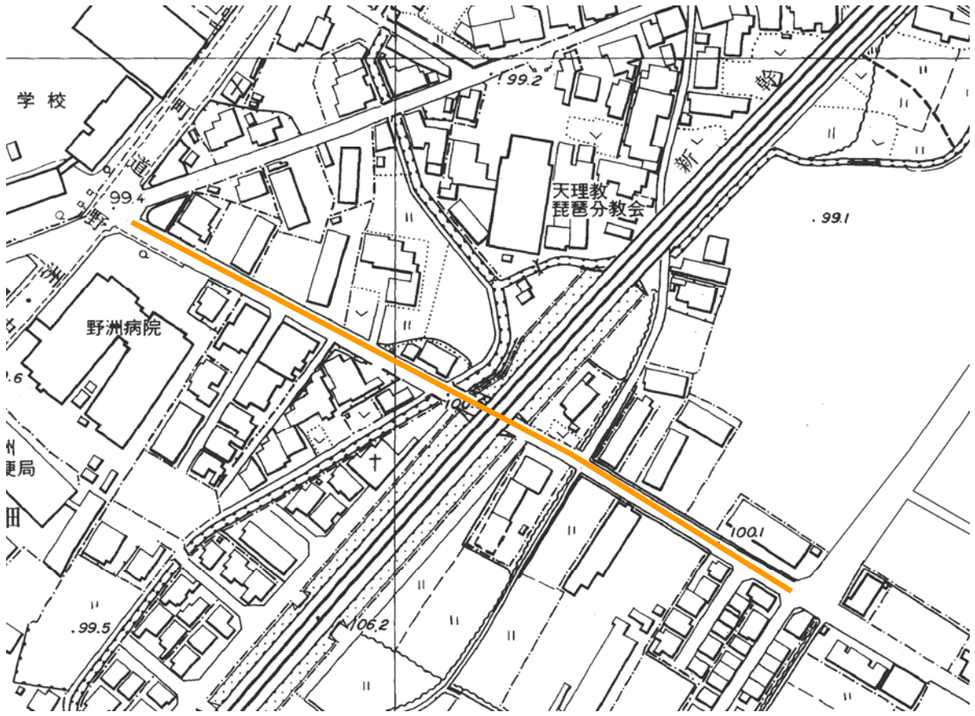
【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・市-12・13（特定経路：市道野洲中央線）・市-15（準特定経路：市道中畑小篠原線）・市-21（その他の経路）整備との整合

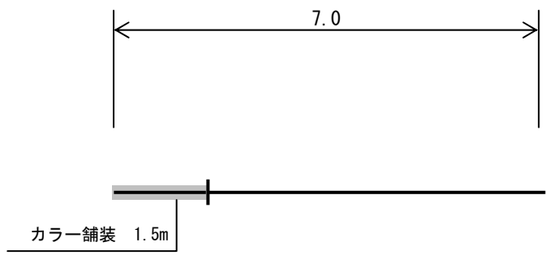
【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】

・ 路側帯左側は側溝蓋がない所が多く、右側は車がすぐ横を走るので危険（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・ 水田への転落防止対策が取られていない（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・ 側溝蓋が破損したり、ガタガタしている箇所があるので修繕が必要（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）
・ 車道と路側帯の色が見分けにくい（視覚障害者）
・ 病院やアルプラザに行く高齢者の通行が多くなっているので、優先して整備してほしい（地域住民等・車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者）

［概略平面図・事業実施個所図　等］

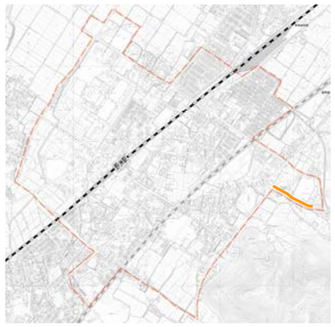


［標準断面図・その他関連図　等］



［路線名 ： 市道 小篠原住宅道線（市-19 ： その他の経路）　（延長：約 310 m)］　【事業者 ： 野洲市】

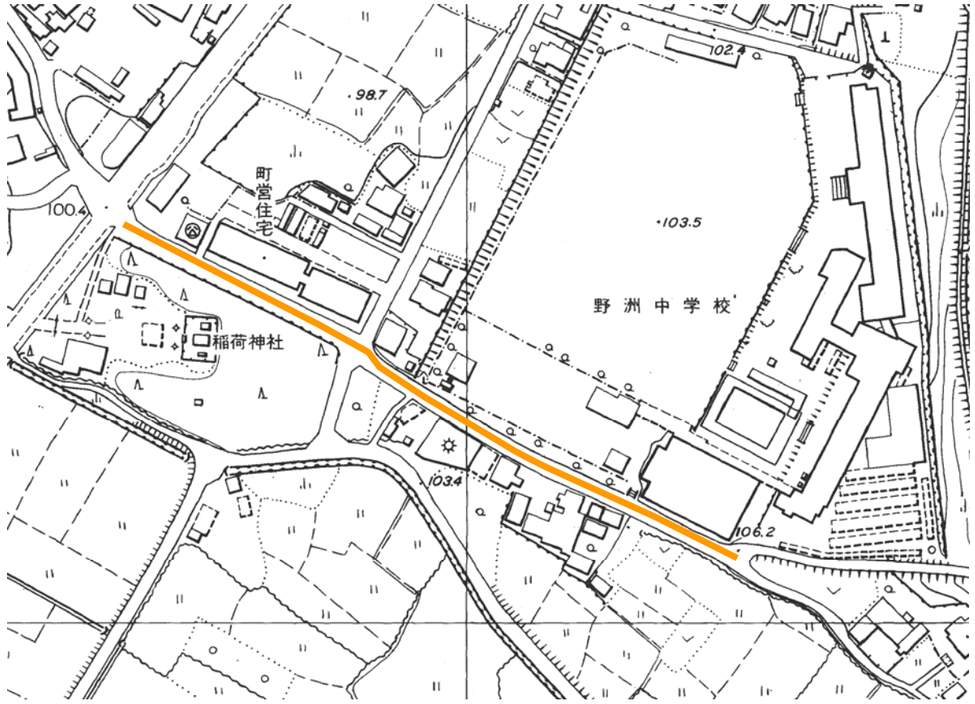
［位置図］



［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

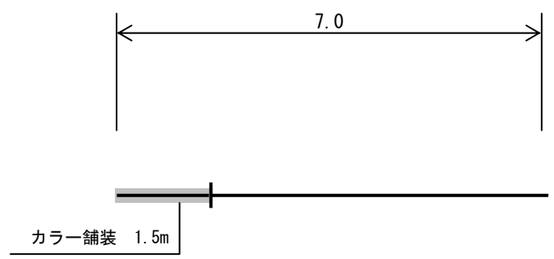
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考（実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①路面・舗装の改良	L＝310m		→	→	→	→	→	→	●			
②障害物の解消	L＝310m		→	→	→	→	→		●			
③人にやさしい生活道路の整備	L＝310m							→	●	○		

［標準断面図・その他関連図　等］



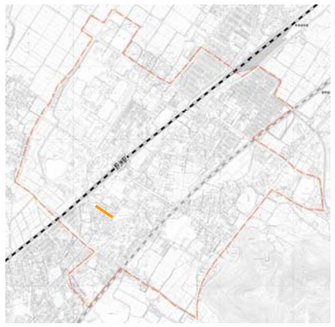
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】
・国-1（準特定経路：国道 8 号）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施した歩行点検調査における主な意見】
・歩行点検調査対象外経路のため意見なし

［路線名 ： 市道 三上市三宅線（市-20 ： その他の経路）　（延長：約 120 m)］　【事業者 ： 野洲市】

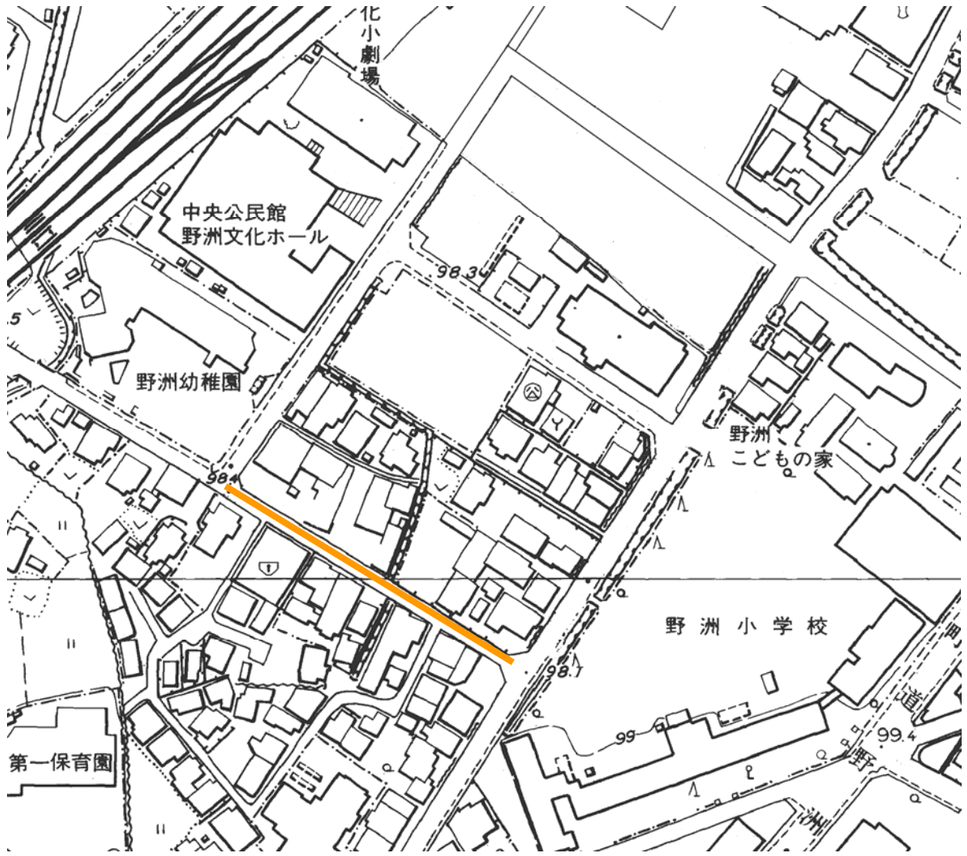
［位置図］



［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

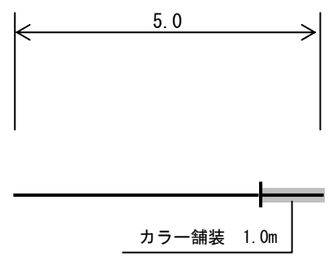
［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考（実施状況等）
		17	18	19	20	21	22	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者	
①人にやさしい生活道路の整備	L＝120m							→	●	○		

［標準断面図・その他関連図　等］



［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・市-4（特定経路：市道野洲駅南線）・市-7（特定経路：市道小篠原稲辻線）・市-5（準特定経路：市道三上市三宅線）整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施したワークショップにおける主な意見】

・ 歩道を整備してほしい。

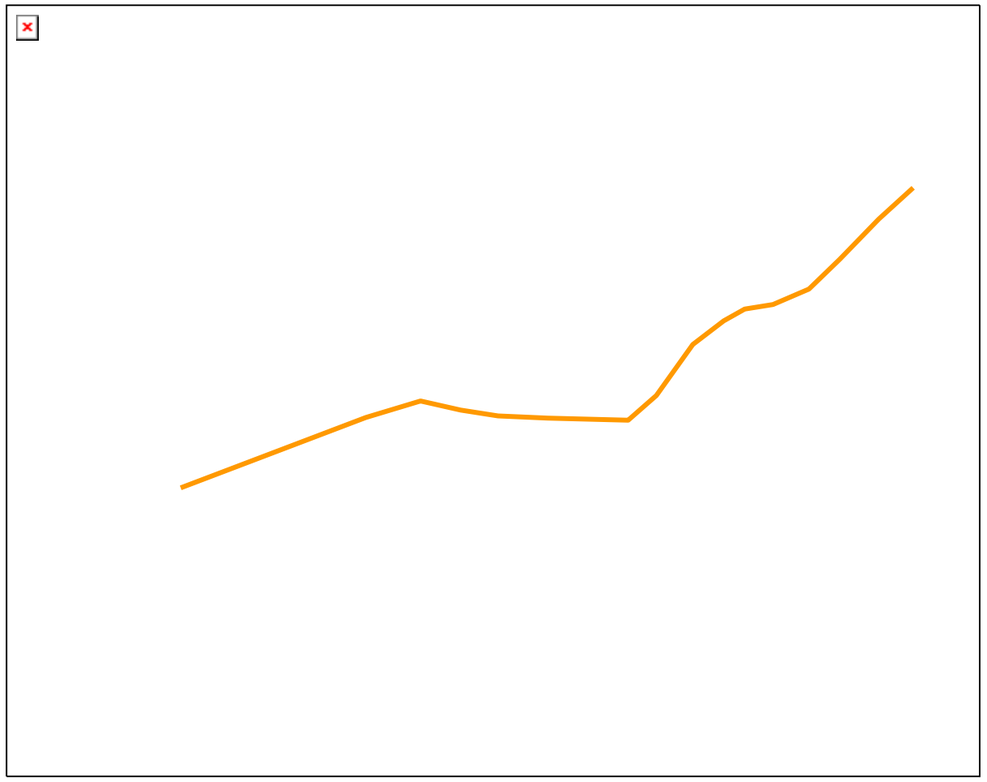
［路線名 ： 市道 旧中山道（市-21 その他の経路）　（延長：約 1,390 m)］　【事業者 ： 野洲市】

［位置図］

［整備方針］

路側のカラー舗装により、歩行者の安全性を高める。

［概略平面図・事業実施個所図　等］



［事業内容］

事業の内容	事業量 延長 ・箇所数	実施予定期間（年度）							事業主体 ●：主体となる事業者 ○:連携が必要となる事業者			備　考 (実施状況等)
		17	18	19	20	21	22	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	
①路面・舗装の改良	L＝1390m		→	→	→	→	→	→	●			
②人にやさしい生活道路の整備	L＝1390m							→	●	○		

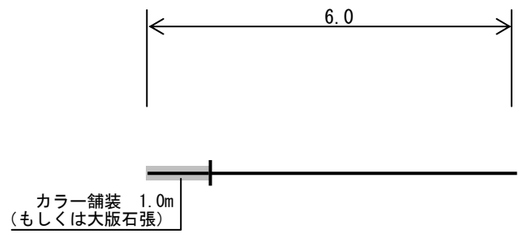
［事業実施に際し配慮すべき重要事項・その他バリアフリー関連意見等］

【事業実施に際し配慮すべき重要事項】

・県-7(準特定経路:県道野洲停車場線)・県-4(その他の経路:県道木部野洲線)・市-7(特定経路:市道小篠原稲辻線)・市-12・13(特定経路:市道野洲中央線)・市-33(準特定経路:市道三上市三宅線)・市-14(その他の経路:市道野洲小篠原線)整備との整合

【野洲町交通バリアフリー基本構想策定時に実施したワークショップにおける主な意見】

・ 野洲小・中学校の通学路であるため、整備してほしい

・ 道が狭く、側溝蓋がないため危険なので、整備してほしい

［標準断面図・その他関連図　等］